

# 平成30年度 当初予算概要



「出会いが織りなすふるさと

“元気”と“うるおい”のあるまち 草津



## 草津市



# 目 次

◎	会計別予算規模	1
◎	一般会計款別総括表	2
◎	一般会計性質別一覧表	3
◎	予算編成方針(抜粋)	5
◎	重点施策および第5次草津市総合計画 第3期基本計画リーディング・プロジェクト	6
◎	重点施策等の概要	
	「重点施策」	
○	「防災・安全のまちづくりの推進」	7
○	「教育の充実」	10
○	「子育て支援の充実」	14
○	「高齢者福祉の充実」	19
○	「スポーツ健康づくりの推進」	22
	「第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト」	
○	「健幸都市づくりの推進」	26
○	「“まちなか”を活かした魅力向上」	31
○	「コミュニティ活動の推進」	34
◎	主要な新規・拡大施策の概要	
○	「人」が輝くまちへ	37
○	「安心」が得られるまちへ	40
○	「心地よさ」が感じられるまちへ	46
○	「活気」があふれるまちへ	56
○	行財政マネジメント	59
◎	別冊資料	
	平成30年度 当初予算の特徴	

## ◎平成30年度 会計別予算規模

(単位：千円 %)

会 計 名		平成30年度当初			平成29年度当初		増減額
		予算額	構成比	対前年比	予算額	構成比	
一 般 会 計		50,700,000	60.2	△ 8.5	55,410,000	61.4	△ 4,710,000
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,804,700	14.0	△ 14.5	13,798,800	15.3	△ 1,994,100
	財産区	572,600	0.7	944.9	54,800	0.1	517,800
	学校給食センター	620,500	0.7	5.6	587,800	0.6	32,700
	駐車場事業	0	0.0	皆減	126,600	0.1	△ 126,600
	介護保険事業	7,969,600	9.5	2.8	7,752,500	8.6	217,100
	後期高齢者医療	1,321,200	1.6	6.9	1,236,400	1.4	84,800
	水道事業	4,445,000	5.3	13.0	3,932,000	4.3	513,000
	下水道事業	6,739,000	8.0	△ 8.6	7,377,000	8.2	△ 638,000
	特別会計の計	33,472,600	39.8	△ 4.0	34,865,900	38.6	△ 1,393,300
合 計		84,172,600	100.0	△ 6.8	90,275,900	100.0	△ 6,103,300

# ◎平成30年度 一般会計款別総括表

(単位：千円 %)

科 目	平成30年度当初予算額			平成29年度当初予算額		増 減 額
		構成比	対前年比		構成比	
1. 市税	23,326,815	46.0	5.3	22,150,841	40.0	1,175,974
2. 地方譲与税	295,000	0.6	3.9	284,000	0.5	11,000
3. 利子割交付金	35,000	0.1	2.9	34,000	0.1	1,000
4. 配当割交付金	91,000	0.2	△ 18.0	111,000	0.2	△ 20,000
5. 株式等譲渡所得割交付金	102,000	0.2	52.2	67,000	0.1	35,000
6. 地方消費税交付金	2,522,000	5.0	15.1	2,192,000	4.0	330,000
7. 自動車取得税交付金	112,000	0.2	24.4	90,000	0.2	22,000
8. 地方特例交付金	123,000	0.2	△ 4.7	129,000	0.2	△ 6,000
9. 地方交付税	999,000	2.0	△ 28.5	1,397,000	2.5	△ 398,000
10. 交通安全対策特別交付金	20,675	0.0	△ 0.8	20,833	0.0	△ 158
11. 分担金及び負担金	826,681	1.6	△ 17.5	1,002,622	1.8	△ 175,941
12. 使用料及び手数料	1,149,881	2.3	2.1	1,126,534	2.0	23,347
13. 国庫支出金	9,723,520	19.2	△ 10.5	10,864,150	19.6	△ 1,140,630
14. 県支出金	3,474,371	6.8	6.6	3,257,849	5.9	216,522
15. 財産収入	99,125	0.2	△ 48.0	190,505	0.3	△ 91,380
16. 寄附金	147,172	0.3	70.9	86,100	0.2	61,072
17. 繰入金	2,269,266	4.5	△ 13.1	2,610,054	4.7	△ 340,788
18. 繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0
19. 諸収入	865,893	1.7	19.9	722,211	1.3	143,682
20. 市債	4,517,600	8.9	△ 50.2	9,074,300	16.4	△ 4,556,700
歳 入 合 計	50,700,000	100.0	△ 8.5	55,410,000	100.0	△ 4,710,000
1. 議会費	313,653	0.6	△ 0.2	314,199	0.5	△ 546
2. 総務費	4,864,646	9.6	△ 10.5	5,437,053	9.8	△ 572,407
3. 民生費	20,911,738	41.2	4.9	19,943,822	36.0	967,916
4. 衛生費	2,790,903	5.5	△ 72.8	10,262,334	18.5	△ 7,471,431
5. 労働費	93,801	0.2	△ 54.8	207,312	0.4	△ 113,511
6. 農林水産業費	613,958	1.2	10.4	556,230	1.0	57,728
7. 商工費	292,925	0.6	7.5	272,527	0.5	20,398
8. 土木費	9,322,162	18.4	16.8	7,979,300	14.4	1,342,862
9. 消防費	1,419,980	2.8	△ 0.9	1,432,430	2.6	△ 12,450
10. 教育費	5,118,738	10.1	20.3	4,255,504	7.7	863,234
11. 公債費	4,767,496	9.4	4.6	4,559,289	8.2	208,207
12. 諸支出金	160,000	0.3	0.0	160,000	0.3	0
13. 予備費	30,000	0.1	0.0	30,000	0.1	0
歳 出 合 計	50,700,000	100.0	△ 8.5	55,410,000	100.0	△ 4,710,000

◎平成30年度 一般会計性質別一覧表

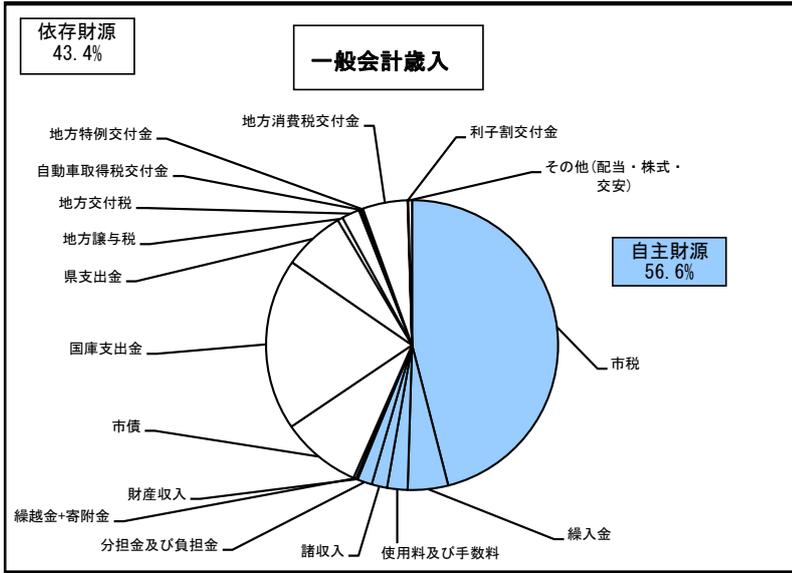
(単位：千円 %)

科 目	平成30年度当初			平成29年度当初		増減額
	予算額	構成比	対前年比	予算額	構成比	
人件費	7,057,680	13.9	2.8	6,865,019	12.4	192,661
扶助費	12,560,152	24.8	1.5	12,369,326	22.3	190,826
公債費	4,767,496	9.4	4.6	4,559,289	8.2	208,207
物件費	7,423,950	14.6	5.1	7,065,458	12.8	358,492
維持補修費	356,168	0.7	△ 21.8	455,380	0.8	△ 99,212
補助費等	4,917,267	9.7	2.9	4,780,561	8.6	136,706
積立金	168,089	0.3	39.8	120,268	0.2	47,821
投資及び出資金	169,773	0.3	166.8	63,626	0.1	106,147
貸付金	277,128	0.6	△ 11.2	312,102	0.6	△ 34,974
繰出金	3,951,517	7.8	0.8	3,918,912	7.1	32,605
普通建設事業費	9,020,780	17.8	△ 39.3	14,870,059	26.8	△ 5,849,279
(1)補助事業費	7,390,499	14.6	△ 32.5	10,942,077	19.7	△ 3,551,578
(2)単独事業費	1,462,433	2.9	△ 62.0	3,851,544	7.0	△ 2,389,111
(3)県営事業負担金	167,848	0.3	119.6	76,438	0.1	91,410
予備費	30,000	0.1	0.0	30,000	0.1	0
歳 出 合 計	50,700,000	100.0	△ 8.5	55,410,000	100.0	△ 4,710,000

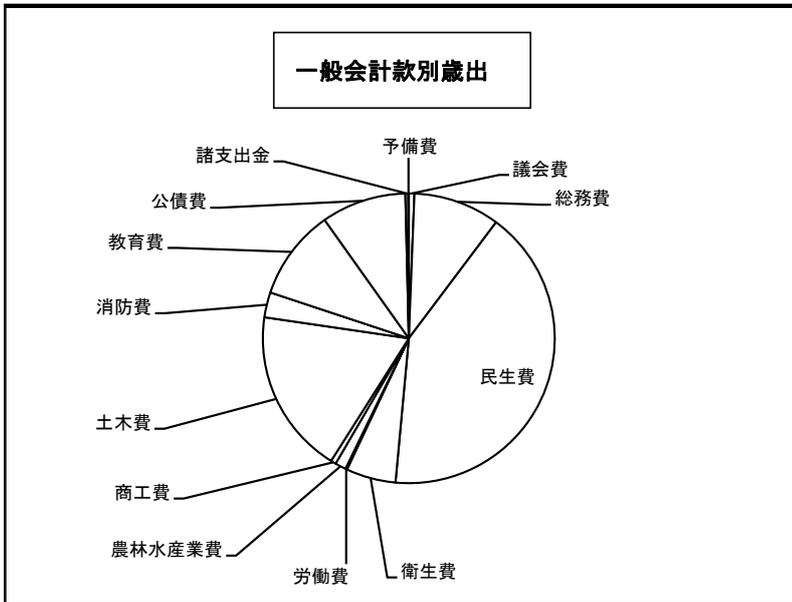
歳 入	自主財源	28,684,834	56.6	2.9	27,888,868	50.3	795,966
	依存財源	22,015,166	43.4	△ 20.0	27,521,132	49.7	△ 5,505,966
	歳入合計	50,700,000	100.0	△ 8.5	55,410,000	100.0	△ 4,710,000
歳 出	義務的経費	24,385,328	48.1	2.5	23,793,634	42.9	591,694
	投資的経費	9,020,780	17.8	△ 39.3	14,870,059	26.8	△ 5,849,279
	その他経費	17,293,892	34.1	3.3	16,746,307	30.3	547,585
	歳出合計	50,700,000	100.0	△ 8.5	55,410,000	100.0	△ 4,710,000

# 平成30年度 草津市一般会計予算

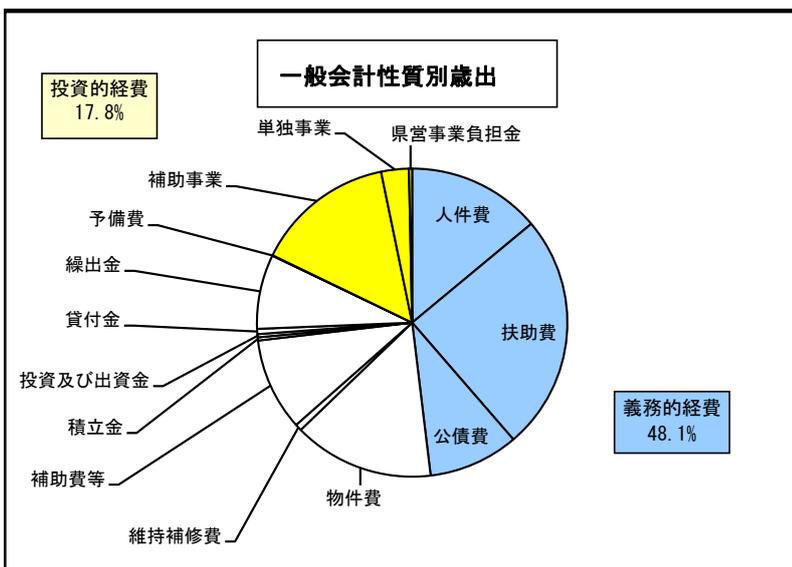
50,700,000 千円



自主財源	市税	46.0%
	繰入金	4.5%
	使用料及び手数料	2.3%
	諸収入	1.7%
	分担金及び負担金	1.6%
	財産収入	0.2%
	繰越金・寄附金	0.3%
依存財源	市債	8.9%
	国庫支出金	19.2%
	県支出金	6.8%
	地方譲与税	0.6%
	地方交付税	2.0%
	自動車取得税交付金	0.2%
	地方特例交付金	0.2%
	地方消費税交付金	5.0%
	利子割交付金	0.1%
	その他	0.4%
合計	100.0%	



議会費	0.6%
総務費	9.6%
民生費	41.2%
衛生費	5.5%
労働費	0.2%
農林水産業費	1.2%
商工費	0.6%
土木費	18.4%
消防費	2.8%
教育費	10.1%
公債費	9.4%
諸支出金	0.3%
予備費	0.1%
合計	100.0%



義務的経費	人件費	13.9%
	扶助費	24.8%
	公債費	9.4%
	物件費	14.6%
	維持補修費	0.7%
	補助費等	9.7%
	積立金	0.3%
	投資及び出資金	0.3%
	貸付金	0.6%
	繰出金	7.8%
その他の経費	予備費	0.1%
	補助事業	14.6%
	単独事業	2.9%
	県営事業負担金	0.3%
合計	100.0%	

# 平成30年度予算編成方針（抜粋）

～第5次草津市総合計画が目指す将来のまちの姿～



## ● 「第5次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り

「第5次草津市総合計画」に掲げられた以下の4つの“まちづくりの基本方向”を念頭に置き、各分野において効果的に目標が達成されるように予算見積りを行うとともに、施策評価を反映した見積り内容とすること。

まちづくりの 基本方向	(1) 「人」が輝くまちへ	(2) 「安心」が得られるまちへ
	(3) 「心地よさ」が感じられるまちへ	(4) 「活気」があふれるまちへ

## ● 重点施策等への戦略的な財源配分

歳出全体の徹底した洗い直しや、制度・施策の抜本的な見直し、優先順位の厳しい選択により、限られた財源を以下の政策分野へ重点的に配分する。

重点施策		
(1) 「防災・安全のまちづくりの推進」	(2) 「教育の充実」	(3) 「子育て支援の充実」
(4) 「高齢者福祉の充実」	(5) 「スポーツ健康づくりの推進」	

## 第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト【重点方針】

(1) 「健幸都市」づくりの推進	(2) 子育て・教育の充実
(3) “まちなか”を活かした魅力向上	(4) コミュニティ活動の推進

## ● まち・ひと・しごと創生への取組

今後の人口減少局面に適切に対応するとともに、これからも魅力的で持続可能な基礎自治体として発展し続けていくため、平成27年度に策定した「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、総合的かつ戦略的な事業展開を図ること。

## ● 「健幸都市」づくりの推進

「草津市健幸都市基本計画」に基づき、個人や地域の健康づくりに加えて、産学公民の連携、健康産業の振興、都市計画や公共インフラ整備の観点からの健康へのアプローチなど、健幸都市の実現を目指した予算見積りとする。

## ● 健全財政の維持

今後も健全で持続可能な財政運営を維持していくため、「財政規律ガイドライン」に示した各種財政指標の目標数値を達成するための取組を反映した上で、予算を見積ること。

## ● 行政システム改革の推進

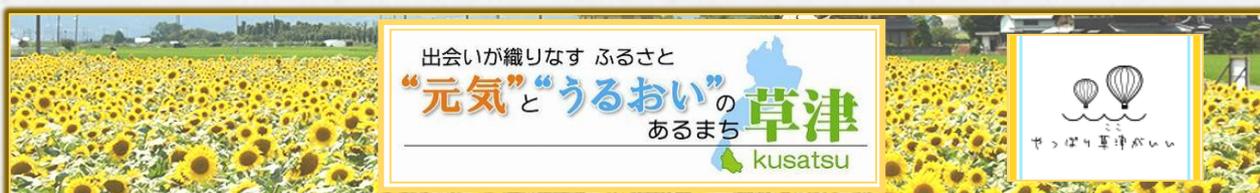
市全体を俯瞰し、長期的な視点での財政負担の抑制と職員の負担軽減を意識しながら、必要性や有効性の観点から全ての事業をゼロベースで厳しく検証し、事業の廃止を含めた見直しを計画的に行うとともに、アウトソーシングの推進などによる、効果的かつ効率的な行政システムを実現するための取組を着実に実行すること。

## ● 予算編成過程の透明化

①予算見積、②総務部内示、③部長間調整、④市長査定の各段階において、予算編成過程の情報開示を行い、見積・審査の金額を公表する。また、各部局で定める部局別予算見積方針についても公表することから、これらの公表を念頭に置いた予算見積りを行い、市民への説明責任を果たすこと。

## ● 現場主義の徹底

地域社会の課題解決を図るために現場の声を十分に聞き、現状を正確に把握した上で、予算を見積ること。



# 重点施策および第5次草津市総合計画 第3期基本計画リーディング・プロジェクト



限られた財源の戦略的な配分を行うため、「市民との協働のまちづくり」を基本に以下の重点施策等を推進するものとする。



第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト④「子育て・教育の充実」は、重点施策②および③の再掲となるため、省略しています。

# 重点施策等の概要

## 「重点施策」

### 「防災・安全のまちづくりの推進」

消防ホース更新整備費補助金	7
防災対策費	8
災害廃棄物処理計画策定費	9

### 「教育の充実」

小・中学校校舎増築費	10
小・中学校大規模改修費	11
英語教育推進費	12
家庭学習サポーター配置費	13

### 「子育て支援の充実」

子育て支援拠点施設運営費	14	
民設児童育成クラブ施設整備費補助金	15	
障害児通所給付費(民間事業所利用者負担軽減分・居宅訪問型児童発達支援費)	16	
認定こども園整備費(志津・山田・玉川)	17	
民間保育所等施設整備費補助金	18	

### 「高齢者福祉の充実」

圏域地域包括支援センター機能強化費	19
在宅医療・介護連携推進事業費	20
介護車両改造費補助金	21

### 「スポーツ健康づくりの推進」

(仮称)草津市立プール整備費	22	
「くさつ健幸ウオーク2018」開催費補助金	23	
中学校運動部活動支援・指導員派遣事業費	24	
野村公園整備費	25	

## 「第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト」

### 「健幸都市づくりの推進」

草津市版ヘルスツーリズム実証事業費	26	
健康経営推進費	27	
健幸づくり推進費	28	
健幸づくり拠点整備事業費	29	
健幸ポイント制度推進費	30	
「くさつ健幸ウオーク2018」開催費補助金【再掲】	23	

### 「“まちなか”を活かした魅力向上」

(仮称)市民総合交流センター整備費	31	
北中西・栄町地区市街地再開発事業費補助金	32	
野村公園整備費【再掲】	25	
草津川跡地整備費・公園運営費	33	
(仮称)草津市立プール整備費【再掲】	22	

### 「コミュニティ活動の推進」

がんばる地域応援交付金	34	
地域ポイント制度推進費	35	
志津まちづくりセンター整備費	36	

※ 草津市健幸都市基本計画に基づく取組は、都市計画や産業振興など幅広い分野で行います。

健幸都市基本計画関連事業については、「」(草津市健幸都市ロゴマーク)を記載しています。

# 主要な新規・拡大施策の概要

## 「人」が輝くまちへ

拡大	コミュニティ・スクールくさつ推進費	37	
拡大	文化振興プログラム推進費	38	
新規	歴史文化基本構想策定費	39	

## 「安心」が得られるまちへ

継続	湖南福祉圏域重症心身障害者生活介護施設整備費	40	
新規	特定相談支援体制強化費補助金	41	
継続	地域支え合い運送支援事業費補助金	42	
拡大	がん検診推進事業費	43	
拡大	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導受診率向上対策費	44	
新規	火葬場整備基礎調査費	45	

## 「心地よさ」が感じられるまちへ

拡大	宿場街道景観形成事業交付金・ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業交付金	46	
継続	烏丸半島群生ハス再生実証実験費	47	
新規	くさつエコスタイルプラザ運営費	48	
継続	南草津プリムタウン土地区画整理事業費補助金	49	
新規	地域再生推進事業費	50	
新規	上水道事業基本計画策定費	51	
拡大	ロクハ浄水場／北山田浄水場耐震補強費	52	
継続	農業集落排水施設公共下水道接続費	53	
継続	大江霊仙寺線(南笠工区)整備費	54	
拡大	コミュニティバス運行費	55	

## 「活気」があふれるまちへ

継続	野菜残さ等の液肥化・利活用実証実験支援事業費	56	
継続	ビワイチ観光推進事業費	57	
継続	アーバンデザインセンター運営費	58	

## 行財政マネジメント

拡大	働き方改革推進費	59	
新規	議会ICT化推進費	60	
継続	事務事業の整理合理化	61	

# 重点施策等の概要

## 「重点施策」

「防災・安全のまちづくりの推進」	.....	7
「教育の充実」	.....	10
「子育て支援の充実」	.....	14
「高齢者福祉の充実」	.....	19
「スポーツ健康づくりの推進」	.....	22

## 「第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト」

「健幸都市づくりの推進」	.....	26
「“まちなか”を活かした魅力向上」	.....	31
「コミュニティ活動の推進」	.....	34



# 防災・安全のまちづくりの推進

(単位: 千円)

事業名	消防ホース更新整備費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 総合政策部			危機管理課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,500					3,500

## ＜事業の概要＞

大規模災害時に火災が同時に発生した場合は、常備消防による消火活動ができないおそれがあり、そのような非常時には、自主防災組織による消防ホースを使用した消火活動を行うこととなります。

消防ホースは耐用年数が10年程度(メーカー推奨)と言われており、屋外の消火栓器具庫に保管していると、未使用であっても内側のゴム部分のひび割れなどが生じることから、定期的な点検と計画的な更新が必要になります。

現在、消防ホースを含む地域の防災備品の整備・更新について、自主防災組織事業補助金を設けて費用の一部を支援していますが、消防ホースの計画的な更新を促進するため、これに特化した支援を5年間限定で行います。

## 【主な内容】

消防ホース更新整備費補助金…350万円

補助率…2分の1

補助限度額…50万円

## 【対象経費】

①整備から10年以上のホースで通水試験もしくは外観点検を実施したもの

②整備から10年未満のホースで通水試験もしくは外観点検を実施した結果、異常が認められたもの

## 【期間】

平成29年度～平成33年度

## ＜事業の目的・効果＞

消防ホースに特化した支援を5年計画で行うとともに、定期的な点検と計画的な更新を促し、地域防災力の強化を行います。



## 経費の内訳

消防ホース更新整備費補助金	3,500
---------------	-------

# 防災・安全のまちづくりの推進

(単位: 千円)

事業名	防災対策費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 総合政策部			危機管理課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,232			2,300	繰 1,252	21,680

## <事業の概要>

本市に最も被害が及ぶ琵琶湖西岸断層帯地震の想定避難者数を10,000人から16,400人に見直したことにより、平成28年度から備蓄物資を追加整備しており、引き続き災害への備えを進めます。

平成30年度からは備蓄物資・資機材を保管する備蓄倉庫を既存の市内14小学校に加えて、市内6中学校等にも計画的に追加整備します。さらに、避難所におけるし尿処理需要対策のため、これまでの仮設トイレの備蓄に加え、今後、計画的にマンホールトイレやオストメイト(人工肛門・人工膀胱を保有している人)にも対応できるトイレを整備・備蓄します。

また、防災力向上と地域コミュニティの活性化を図るため、地域が主体となった地区防災計画づくりに取り組む必要があることから、昨年度に引き続き2学区に補助金を交付し、その作成を支援します。

## 【事業計画】

○毛布 1,900枚 ○アルファ米 12,300食 ○地区防災計画策定費補助金 2学区分

○マンホールトイレ整備

平成30年度 実施設計業務

平成31年度 小・中学校の工事(4箇所)

平成32年度 小・中学校の工事(4箇所)

○備蓄倉庫 2箇所 ○オストメイトトイレ 2基 ○資機材 3箇所(中学校、野村公園新体育館分)

## <事業の目的・効果>

・大規模災害が発生した際に、必要となる食糧(アルファ米)や毛布を整備し、有事に備えるものです。

また、災害発生時に、迅速な初動対応ができるよう、備蓄倉庫・資機材を中学校等にも追加整備し、オストメイトの人が利用できるトイレを整備するなど、市内の備蓄体制を強化します。

・災害時、市民の衛生環境・健康を確保するためのマンホールトイレ整備に向け、実施設計を行います。

・地区防災計画策定や実践を通じて、共助の意識を熟成させ、地域防災力の向上を目指します。



## 経費の内訳

毛布・アルファ米購入費	9,300
マンホールトイレ整備実施設計費	2,320
備蓄倉庫・オストメイトトイレ整備費	6,000
防災資機材購入費	3,623
地区防災計画策定費補助金	3,989

# 防災・安全のまちづくりの推進

(単位:千円)

事業名	災害廃棄物処理計画策定費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 環境経済部			ごみ減量推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,681					5,681

## <事業の概要>

大規模災害時に発生する多様で膨大な量の廃棄物の処理については、市民の健康への配慮や安全の確保、衛生や環境面での安全・安心のための迅速な対応が必要となります。  
 今後発生が予測される大規模地震等に備えて、環境省の災害廃棄物対策指針および平成29年度に策定予定の滋賀県災害廃棄物処理計画とも整合を図った本市の災害廃棄物(避難所ごみ等を含む)の処理を、適正かつ迅速に行うための必要事項を整理した災害廃棄物処理計画を策定します。

## 【主な検討事項】

被害を抑止・軽減するための災害予防  
 発災時の応急対策、復旧・復興対策 他

## <事業の目的・効果>

災害廃棄物の分別や処理方法について予め計画に位置づけることで、初動段階から適正かつ迅速に処理を行い、災害後の対策を可能な限り効率的かつ確実に行うことができます。  
 また、滋賀県が策定を進めている災害廃棄物処理計画と整合を図ることで、広域的な連携を前提とした災害廃棄物の処理を進めることができます。



熊本地震: 熊本市の災害廃棄物仮置場の様子

## 経費の内訳

災害廃棄物処理計画策定支援業務委託費 5,681

# 教育の充実

(単位:千円)

事業名	小・中学校校舎増築費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
637,294	105,657		360,900	繰 98,000	72,737

## ＜事業の概要＞

高穂中学校と志津小学校は周辺の宅地開発が進み、生徒数、児童数が年々増加しています。今後、教室の不足が想定されることから、適正な施設規模を確保するため、校舎の増築工事等を行います。

## 【施設概要】

高穂中学校(RC造 3階建て 延床面積 約1,224㎡、既存校舎棟一部改修)30教室→35教室  
志津小学校(RC造 3階建て 延床面積 約697㎡)31教室→37教室

## 【平成30年度当初予算事業】 637,294千円

・高穂中学校増築工事等、志津小学校備品購入費等

## 【平成29年度補正予算事業】 273,348千円

・志津小学校増築工事等

## 【事業計画】

平成30年度 増築工事  
平成31年度 供用開始

## ＜事業の目的・効果＞

校舎の増築を行い、生徒数、児童数の増加に対応した適正な施設規模を確保することで、教育環境の向上を図ります。

## 高穂中学校増築イメージ図



## 経費の内訳

### ＜平成30年度当初予算＞

高穂中学校増築工事費	564,975
高穂中学校クラブ室解体工事費	63,318
高穂中学校備品購入費	5,535
志津小学校備品購入費	2,559
その他事務費	907

### (債務負担行為)

平成31年度 高穂中学校増築工事費・工事監理費	54,900
----------------------------	--------

### ＜平成29年度補正予算＞

志津小学校増築工事費	267,101
志津小学校増築工事監理費	6,247

# 教育の充実

(単位:千円)

事業名	小・中学校大規模改修費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
352,790	64,154		215,600	繰 66,000	7,036

## <事業の概要>

建築後相当年数経過した校舎等学校施設の改修を計画的に実施するとともに、校舎の非構造部材の耐震対策を行います。

【大規模改造工事】 186,502千円

- ・常盤小学校体育館大規模改造工事、工事監理業務 昭和54年築 995㎡
- ・志津南小学校大規模改造第2期工事实施設計業務 昭和62年築 2,162㎡
- ・新堂中学校武道館大規模改造工事实施設計業務 平成 6年築 350㎡

【非構造部材改修工事】 87,408千円

- ・老上、笠縫東小学校非構造部材改修工事、工事監理業務
- ・新堂中学校非構造部材改修工事、工事監理業務
- ・志津、笠縫小学校非構造部材改修工事調査・点検・実施設計業務
- ・老上中学校非構造部材改修工事調査・点検・実施設計業務

【トイレ改修工事】 73,599千円

- ・草津中学校トイレ改修工事、工事監理業務(後館) 1階～4階 4か所
- ・草津中学校トイレ改修工事实施設計業務(前館) 1階～4階 4か所

【グラウンド改修工事】 5,281千円

- ・老上中学校グラウンド改修工事实施設計業務

## <事業の目的・効果>

学校施設の改修・更新を進めることで教育環境の改善を図るとともに、非構造部材の耐震対策を行うことにより、学校施設の安全性を確保します。

平成28年度  
笠縫小学校体育館大規模改造工事

改修後



## 経費の内訳

常盤小体育館 大規模改造工事費・工事監理費	174,667
志津南小 大規模改造第2期工事实施設計費	8,730
新堂中武道館 大規模改造工事实施設計費	3,105
老上小、笠縫東小、新堂中 非構造部材改修工事費・工事監理費	72,298
志津小、笠縫小、老上中 非構造部材改修調査・点検・実施設計費	15,110
草津中トイレ改修 工事費・工事監理費(後館)	70,088
草津中トイレ改修工事实施設計費(前館)	3,511
老上中グラウンド改修工事实施設計費	5,281

# 教育の充実

(単位:千円)

事業名	英語教育推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			学校教育課・学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
29,534					29,534

## ＜事業の概要＞

平成29年3月に告示された新学習指導要領は、平成30年度からの先行実施を経て、小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から全面実施されます。小学校では、3、4年生で新たに外国語活動が開始され、5、6年生は正式な教科となります。中学校の英語科においても、授業を英語で行うことが基本となるなど、小中学校での英語教育が大きく変わります。

これを踏まえ、JTE(日本人の英語指導助手)やALT(外国人の英語指導助手)の配置、オンライン授業の実施、配信型デジタル教材の導入、英語検定の4技能化等により、英語教育の充実を図ります。

## 【主な内容】

### ＜小学校＞

・全14校にJTEを配置。[拡大]

(これまでの5、6年生に加え、新たに始まる3、4年生の外国語活動にもJTEを配置。)

・ALTを引き続き1人配置し、全14校を巡回。

・オンライン授業(ビデオ通話による外国人講師とのコミュニケーション活動を取り入れた授業)を、小学校7校で実施(6年生各学級で、平成30年9月～平成31年3月に月1回程度。)

・電子黒板やタブレットPCで活用できる配信型デジタル教材を全14校に導入。[新規]

### ＜中学校＞

・ALTを引き続き2人配置し、全6校を巡回。

・これまで3技能(「読む」「書く」「聞く」)であった英語検定に「話す」を加えて4技能化。[拡大]

## ＜事業の目的・効果＞

「草津市英語教育推進計画」に基づき本市英語教育の拡充・強化を図るとともに、本市の新しい英語教育の指導体制を確立します。

事業実施を通じて、「草津市小中一貫英語教育カリキュラム」を完成させるとともに、小中学校の指導体制の強化・充実、教員の英語力・指導力向上、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図り、新学習指導要領に基づく新しい英語教育へ円滑に移行できるよう教育環境を整えます。

### 教員と英語指導助手(JTE・ALT)との協働



### タブレットPC活用による授業の充実



### 経費の内訳

JTE報酬	7,732
ALT委託費	14,652
オンライン授業委託費	1,232
デジタル教材使用料	273
英語検定料補助金	5,645

# 教育の充実

(単位:千円)

事業名	家庭学習サポーター配置費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,940		1,960			980

## <事業の概要>

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果から、本市の子どもたちの家庭学習習慣の定着に課題があることが分かりました。学力向上を図るためには、家庭学習の充実が必要です。

このため、市立の小学校に、教員OB等による家庭学習サポーターを配置し、家庭学習用プリントの添削指導等を通じて、子どもたちの家庭学習を充実させ、学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革を推進します。

## 【事業の内容】

小学校に教員OB等による家庭学習サポーターを配置

## 【家庭学習サポーターの業務】

家庭学習用プリント・自主学习ノート・作文の添削、家庭学習に係る課題の分析・助言 等

## 【年間計画】

4月 家庭学習サポーターの募集  
5月～ 各小学校への配置

## <事業の目的・効果>

子どもたちの家庭学習の充実を通して、学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革を推進します。

<p>◎家庭学習の成果を丁寧に評価し、子どもたちの学ぶ意欲を高めたい！</p> <p>◎子どもたちとじっくり向き合う時間が必要！ ◎学習指導・生活指導に充てるための時間が必要！</p> <p>葛藤、ストレス、疲労感</p> <p>小学校の学級担任の思い</p> <p><b>小学校に「家庭学習サポーター」を配置</b></p> <p>子どもたちの家庭学習の充実・学力向上 教員の業務改善・働き方改革の推進</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">経費の内訳</th> </tr> <tr> <td>家庭学習サポーター配置費</td> <td>2,940</td> </tr> </table>	経費の内訳		家庭学習サポーター配置費	2,940
経費の内訳					
家庭学習サポーター配置費	2,940				

# 子育て支援の充実

(単位: 千円)

事業名	子育て支援拠点施設運営費			区分	新規
事業費	担当部局・所属		子ども家庭部	子ども子育て推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,386	5,382	5,382		繰 16,380	9,242

## <事業の概要>

人口増加の著しいJR南草津駅前に、市南部地域の中核拠点となる子育て支援拠点施設を開設します。

## 【主な機能】

- ・遊び広場、絵本広場
- ・子育て相談
- ・子育て情報提供・発信
- ・地域連携※

※地域連携とは、地域の子育て支援関係機関との連携・協働の体制づくりや子育てサークル等の団体の育成など、地域で必要とされる子育て資源の発掘や育成を行う事業です。

## 【施設の概要】

- ・開設場所 西友南草津店2階(施設面積 約430㎡)
- ・オープン 平成30年4月
- ・開設日 火曜日から日曜日(毎週月曜日と12月29日から1月3日は閉所)
- ・開設時間 9時から17時
- ・対象 乳幼児から小学校3年生までの児童と保護者

## <事業の目的・効果>

より多くの子どもと保護者の交流や子育て相談、子育てに関する情報提供・発信などを充実させることで、保護者の子育てへの不安解消を図ります。



施設内イメージ図

## 経費の内訳

運營業務委託費	19,163
テナント賃借料	14,663
清掃業務等委託費	2,360
その他事務費	200

# 子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	民設児童育成クラブ施設整備費補助金			区分	拡大
事業費	担当部局・所属			子ども家庭部	
	子ども子育て推進課			子ども子育て推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,000	3,333	3,333			3,334

## <事業の概要>

児童数や就労家庭の増加等に伴って児童育成クラブの利用者数が増加傾向にあることから、施設の増加を図り、多様な保護者のニーズに対応するため、民設民営による児童育成クラブの開設を支援します。

## 【主な内容】

民設児童育成クラブ施設整備費補助金 上限250万円×4か所  
開設予定の小学校区については、児童数や申込数の状況等を検証の上、決定します。

## 【スケジュール】

平成30年度 公募により設置・運営者の決定、施設整備および補助金交付  
平成31年4月 開設予定

## 【開設実績】

平成27年度 草津小学校区、渋川小学校区、笠縫小学校区  
平成28年度 志津小学校区、矢倉小学校区、玉川小学校区  
平成29年度 志津南小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区、笠縫小学校区

## <事業の目的・効果>

民設民営による児童育成クラブを新たに開設し、受け入れ定員を拡大するとともに、多様な保護者のニーズに対応します。これにより、保護者の就労と子育ての両立を支援し、また、放課後の適切な遊びや生活指導等を通して、児童の心身の健全な育成を図ります。

	<b>経費の内訳</b>	
	施設整備費補助金	10,000

# 子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	障害児通所給付費(民間事業所利用者負担軽減分・居宅訪問型児童発達支援費)			区分	新規
事業費	担当部局・所属			子ども家庭部 発達支援センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,731	350	175			1,206

## ＜事業の概要＞

児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスについて、利用者のニーズが高まっており、民間事業所を利用するケースが増えています。

これらのサービスについて、従来の公設事業所(発達支援センター)だけでなく、民間事業所の利用についても、利用者負担分を支援します。

また、障害児通所支援を利用するために外出することが困難な場合等に、自宅を訪問して児童発達支援を行うサービスを始めます。

## 【主な内容】

- ・障害のある就学前の子どもが、民間事業所の実施する児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスを利用する場合に利用者負担分を全額支援します。
- ・重度の障害がある子どもが、児童発達支援のサービスを受けるために外出することが困難な場合等に、発達支援センターの職員が自宅を訪問し、日常生活における基本的な動作や知識の習得を支援します。

## 【スケジュール】

平成30年4月…事業実施

## ＜事業の目的・効果＞

障害のある子どもに対し、早期からの発達支援の充実を図ることで、保護者が安心して子育てができる環境を整えます。



## 経費の内訳

児童発達支援費補助金	876
保育所等訪問支援費補助金	77
居宅訪問型児童発達支援費	778

# 子育て支援の充実

(単位: 千円)

事業名	認定こども園整備費(志津・山田・玉川)			区分	幼児課	継続	
事業費	担当部局・所属		子ども家庭部				
	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
504,565	50,474		334,800	繰	117,900	1,391	

## <事業の概要>

「草津市幼保一体化推進計画」に基づき、質の高い幼児教育と保育の一体的な提供に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設改修に取り組みます。

## 【主な内容】

- ・(仮称)志津認定こども園整備事業(平成31年度開園、利用定員130人→175人予定)  
既存棟改修
- ・(仮称)山田認定こども園整備事業(平成31年度開園、利用定員65人→90人予定)  
増築棟の建設および既存棟改修
- ・(仮称)玉川認定こども園整備事業(平成32年度開園、利用定員130人→175人予定)  
増築棟の建設および既存棟一部改修

## <事業の目的・効果>

将来の就学前人口や地域需要の動向、多様な保育ニーズや保護者の就労状況等に対応できる新しい就学前施設を整備し、幼保一体化を推進します。

- ・幼児教育・保育の質の確保
- ・幼稚園・保育所の在籍状況のアンバランスと待機児童の解消
- ・3歳児への幼児教育推進
- ・子育て支援の充実

<p>認定こども園とは ～幼稚園と保育所の両方の良いところを活かした施設です。</p>	経費の内訳	
	(仮称)志津認定こども園整備事業	
	整備工事費	115,264
	工事監理費	4,885
初度備品購入費	3,936	
(仮称)山田認定こども園整備事業		
整備工事費	100,272	
工事監理費	6,486	
初度備品購入費	3,025	
(仮称)玉川認定こども園整備事業		
整備工事費	261,647	
工事監理費	9,050	

# 子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	民間保育所等施設整備費補助金			区分	拡大
事業費	担当部局・所属			子ども家庭部	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
973,132	702,702	29,046	185,300	繰 45,000	11,084

## <事業の概要>

「子ども子育て支援事業計画」の中間見直しの結果、保育需要が計画を上回るペースで推移していることから、計画の最終年度(平成31年度)に向けて、平成31年4月に開園予定の民間保育所、小規模保育施設および既存民間保育所の整備を支援し、定員拡大による待機児童の解消に取り組みます。

## 【主な内容】

- ・新設民間保育所施設整備費補助金(3施設以内公募、利用定員250人程度増)
- ・既存民間保育所施設整備費補助金(3施設、利用定員70人程度増)
- ・小規模保育施設整備費補助金(2施設公募、利用定員38人程度増)

※小規模保育事業とは、3歳未満児を対象とした、定員6人以上19人以下の少人数で行う認可保育事業です。

## <事業の目的・効果>

保育需要の増加に対応するため、民間保育所および小規模保育施設等の施設整備を行い、待機児童の解消に努めます。



## 経費の内訳

新設民間保育所施設整備費補助金	615,029
既存民間保育所施設整備費補助金	319,603
小規模保育施設整備費補助金	38,500

# 高齢者福祉の充実

(単位: 千円)

事業名	圏域地域包括支援センター機能強化費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			地域保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,218	2,394	1,197		繰保 1,206 保 1,421	

## <事業の概要>

地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や介護予防のための必要な援助などを行うために設置された機関です。各地域包括支援センターでは、認知症やひとり暮らしの高齢者が増加する中で、相談業務等が増大し事務負担が大きくなっています。このため、各地域包括支援センターに新たに事務職員を配置することで、事務作業の負担を軽減し専門職が相談業務等に専念できる体制を構築します。

## 【主な内容】

- ・事務職員の配置(6圏域)

## <事業の目的・効果>

事務職員を配置することで、専門職が担っている事務作業の軽減を図り、専門職が相談業務等に専念できる体制を確立することで地域包括支援センターの機能強化を図ります。

	経費の内訳	
	事務職員配置費	6,218

# 高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	在宅医療・介護連携推進事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,536	1,746	873	繰保	879 1,038	

## <事業の概要>

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、自宅等の住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、新たに在宅医療と介護の関係者の緊密な連携を支援するコーディネータを配置し、在宅療養を支える仕組みづくりを進めます。

## 【主な内容】

- コーディネータの配置
- <コーディネータの主な役割>
  - ・在宅療養者の支援に関わる医療・介護関係者からの相談支援
  - ・医療機関と介護関係者の連携に係る課題抽出および集約
  - ・地域の医療介護資源の情報収集
  - ・在宅医療・介護連携推進のための各種研修の開催支援 など
- 実施方法
  - 一般社団法人草津栗東医師会へ委託

## <事業の目的・効果>

地域のかかりつけ医、看護職、介護職などの多職種連携を促進することで、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、その人らしい過ごし方(在宅療養生活)ができるようチームサポート体制の構築を推進します。



## 経費の内訳

コーディネータ配置等委託費	3,981
在宅医療介護連携推進会議開催費	396
市民講座開催費	78
その他事務費	81

# 高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	介護車両改造費補助金			区分	新規
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
525					525

## <事業の概要>

中重度の要介護の人が外出する際に使用することを目的に購入する車いす仕様車などの介護車両の購入費等のうち、改造費の一部を支援します。

## 【対象者】 以下の①～③の条件を満たす人

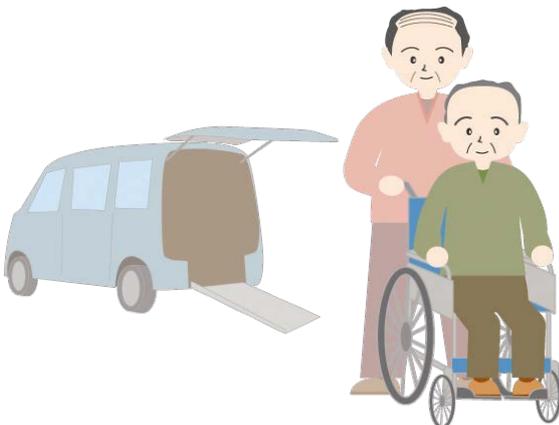
- ① 要介護3以上の人または要介護3以上の人と生計を一にする人
- ② 要介護のため、自動車の改造の必要があると認められる人
- ③ 補助金の交付を申請する月の属する前年の本人ならびにその配偶者および扶養義務者の所得税の課税所得金額が、当該月の属する年の特別障害者手当の所得制限限度額を超えない人

## 【補助額】

- 新車購入に対する補助 7万5千円(改造費用が当該金額を下回る場合は、改造費用)
- 中古車購入に対する補助  
初度登録年月から36か月以内 4万5千円(37か月以上 2万3千円)
- 現に所有する車両の改造に対する補助  
15万円を限度とする改造費相当額に2分の1を乗じて得た額

## <事業の目的・効果>

介護車両の購入費等のうち、改造費の一部を支援することで、中重度の要介護の人の外出支援と介護家族の負担軽減を図ります。

	経費の内訳	
	介護車両改造費補助金	525

# スポーツ健康づくりの推進

## 総合計画リーディングプロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	(仮称)草津市立プール整備費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,675					8,675

### <事業の概要>

平成36年度に開催される第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、ポスト国体を見据えた「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「市民のスポーツ・健康づくり」の実現に向け、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。

### 【施設の概要】

整備予定地: 西大路町他

主な施設: 屋内温水50mプール、25mプール(飛込兼用)

### 【主な内容】

公園整備計画策定業務

建物調査業務

基本計画検討懇話会の開催

### <事業の目的・効果>

野村運動公園や草津川跡地公園との連携を図り、スポーツ健康づくりの機会の推進を図るとともに健康都市としての魅力向上につなげます。また、県内唯一の屋内50mプール・飛込兼用の25mプールを有する施設としての活用を図り、全国規模の大会や合宿の誘致を通じて、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。

(仮称)草津市立プール位置図



### 経費の内訳

#### <平成30年度当初予算>

整備調査費	7,074
基本計画検討懇話会運営費	400
その他事務費	1,201

#### <平成29年度補正予算>

基本計画策定他支援業務委託費	18,706
----------------	--------

# スポーツ健康づくりの推進

## 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	「くさつ健幸ウオーク2018」開催費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,450	1,725				1,725

### ＜事業の概要＞

ウォーキングは、ランニングとともに誰もが気軽に取り組めるスポーツとして、多くの人を楽しまれています。近年は高齢者をはじめ、体力に自信のない人でも取り組めるスポーツとして、専用ポールを使用したノルディックウオークに取り組まれる人も増えています。

こうした中で、ウォーキングを通じたスポーツ健康づくりを推進するため、市内を舞台とした「健幸ウオーク2018」を開催します。

### 【事業計画】

- ・開催時期 平成30年度 秋
- ・発着会場 草津川跡地公園(区間5) de 愛ひろば イベント広場

### ＜事業の目的・効果＞

市内を舞台にウォーキングイベントを開催することを通じて、住む人も訪れる人も「健幸」になれるまちを具現化するとともに、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができる機会の充実を図ります。



### 経費の内訳

ウォーキング大会開催費補助金	3,450
----------------	-------

# スポーツ健康づくりの推進

(単位:千円)

事業名	中学校運動部活動支援・指導員派遣事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,140	973				1,167

## <事業の概要>

中学校の運動部活動では、専門的な指導者の不足や、指導に対するニーズの多様化等を背景に、教員が指導に不安を抱えていたり、長時間の勤務につながってしまうなど、心身への負担が大きいといった課題があります。

これらの課題を解消し、中学校の運動部活動の活性化や生徒の競技力向上、教員の勤務時間の削減を図るため、(公社)草津市体育協会の人材バンク制度「スポーツリーダーバンク」を活用し、登録された指導者が、中学校の運動部活動で顧問の教員の下で指導する「中学校運動部活動支援事業」を引き続き実施します。また、新たに、資格を持った指導者が部活動顧問を担うことができる「中学校運動部活動指導員派遣事業」も創設します。

## 【スケジュール】

平成30年4月～ 各中学校とスポーツリーダーバンク登録者との調整、打ち合わせ、派遣  
6月～ 各中学校と指導員の調整、打ち合わせ、派遣

## <事業の目的・効果>

中学校運動部活動において専門的な知識を持つ外部人材を活用することで、生徒の競技力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革を推進します。

	<b>経費の内訳</b>	
	中学校運動部活動 支援事業費補助金 指導員派遣事業費	679 1,461

# スポーツ健康づくりの推進

## 総合計画リーディングプロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位: 千円)

事業名	野村公園整備費			区分	公園緑地課・スポーツ保健課	継続	継続
事業費	担当部局・所属		建設部・教育委員会	公園緑地課・スポーツ保健課			
	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,970,148	1,453,141		1,249,600	繰	223,824	43,583	

### ＜事業の概要＞

中心市街地におけるにぎわい拠点の整備を進めるため、市民スポーツの拠点である市民体育館をスポーツ以外の各種イベントも実施可能な体育館として、建替え工事を引き続き実施します。

### 【施設概要】

体育館 建築面積(約7,000㎡)  
 メインアリーナ(約2,000㎡)、サブアリーナ(約830㎡)  
 収容観客数(約3,500人)

### 【事業費総額】 2,970,148千円

体育館建設工事費、工事監理費、付帯工事費、備品購入費等

### 【事業年度計画】

平成30年度: 体育館建設工事、工事監理業務、付帯工事、備品購入  
 平成31年度: 体育館供用開始

### ＜事業の目的・効果＞

- ・野村運動公園の施設を更新し、スポーツ施設の充実を図ります。
- ・中心市街地を活性化するにぎわいを創出します。
- ・中心市街地に不足する緑地と、防災拠点など多機能を有するオープンスペースを確保します。

		経費の内訳	
<div data-bbox="172 1473 475 1509" data-label="Section-Header"> <h4>野村公園整備第1期事業</h4> </div> <div data-bbox="134 1559 791 1951" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="306 1948 603 1982" data-label="Caption"> <p>野村公園体育館イメージ図</p> </div>	建設工事費		2,824,542
	工事監理費		17,064
	付帯工事費		59,100
	付帯工事実施設計費		5,400
	電柱移設補償費		3,000
	備品購入費		60,000
	その他事務費		1,042

# 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	草津市版ヘルスツーリズム実証事業費			区分	継続
事業費	担当部局・所属		環境経済部	商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,000	2,000				2,000

## <事業の概要>

平成29年度のヘルスツーリズム調査検討業務の結果を踏まえて、草津市観光物産協会を中心にスポーツ関係団体や、農漁業関係者、大学など、多様な事業者と連携を図りながら、草津市版ヘルスツーリズムの商品化に向けて、地域資源の活用方法や広報宣伝戦略の検討を進めるとともに、引き続きモニターツアーを実施しながら実証を重ねていきます。

## 【主な内容】

- ・地域資源の活用に向けた素材集の調製
- ・広報宣伝戦略の検討
- ・モニターツアーの実施(夏季と秋季に計4回程度)

※ヘルスツーリズム:旅行という非日常的な楽しみの中で、健康回復や健康増進を図るもの。

## <事業の目的・効果>

「健幸」になれる効果的なツアーを構築していくことにより、市民の健康増進や観光振興等の取組につなげ、交流人口の増加や草津を訪れれば「健幸」が享受できる都市としての魅力向上を図ります。



平成29年度に実施したモニターツアーの風景

## 経費の内訳

草津市版ヘルスツーリズム実証事業費	4,000
(観光物産協会観光振興活動費補助金)	

# 総合計画リーディング・プロジェクト(「健康都市」づくりの推進)

(単位: 千円)

事業名	健康経営推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属		環境経済部	商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,300	650				650

## <事業の概要>

事業者が従業員の健康管理を経営的視点で捉え、従業員の健康保持・増進に取り組むことが組織の活性化や生産性の向上につながり、ひいては収益性を高めるものであるという考え方のもと、市内事業所に対して最新の健康経営の情報や健康経営の取組事例などを発信し、健康経営の導入の推進を図ります。

## 【主な内容】

- ・健康経営シンポジウムの開催(1回)
- ・健康経営セミナーの開催(2回程度)

## <事業の目的・効果>

市内の事業所が健康経営に取り組むことで、事業者側のメリットとして、労働生産性を高め、高い利益率を享受し、労働災害や企業リスクを低減することができ、安定した経営が可能となります。

また、従業員側のメリットとして、健康の増進、生活の質の向上や働きがいを得ることが期待できます。健康経営の取組を進めることで、従業員が安心して事業所で働き、健康になれるまちを目指します。

	経費の内訳	
	シンポジウムおよびセミナー開催費	1,300



# 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり推進費		区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉政策課・関係各課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	一般財源
9,813	4,638	178		4,997

## <事業の概要>

市民が生きがいをもち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現を目指す「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や地域、大学、企業・団体等、あらゆる主体が連携し、市の総合政策として健幸都市づくりに向けた取組を進めます。

## 【主な内容】

- ・草津川跡地公園における健幸フェアの開催  
(くさつ健幸ウオークや「食」に関するイベントと同時開催)
- ・食品ロス削減に健康づくりの取組を加えた「3010運動+(プラス)」の推進
- ・健康のまち草津モデル事業費補助金
- ・食と運動のヘルスチェックデーの開催
- ・食育啓発・実践のため飲食店等との連携を推進



## <事業の目的・効果>

急速な高齢化が進む中で、認知症や寝たきりなど介護を必要とする人が増え、生活習慣病の増加に伴い医療費も増加するなど、介護予防や疾病予防の強化が必要となっています。

従来からの健康福祉施策だけでなく、ハード・ソフト両面からの施策展開や社会的なつながりの強化、産学公民の連携などにより、市全体で健幸都市づくりを進め、高齢化や人口減少が進んでも持続可能な社会の実現を目指します。



<健幸都市のイメージ>

## 経費の内訳

健幸フェア開催費	980
3010運動+推進費	899
健康のまち草津モデル事業費補助金	7,000
食と運動のヘルスチェックデー開催費	758
健幸くさつチャレンジ食育推進費	176

# 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり拠点整備事業費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	健康福祉部・建設部		健康福祉政策課・公園緑地課・草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,268	12,788				1,480

## ＜事業の概要＞

「まちの健幸づくり」を進めるため、従来からの健康施策の枠組を超えて、ハード・ソフトの両面から健康づくりを進め、「出かけたくなるまちづくり」や「交流機会や健康拠点の充実」の取組を推進します。

## 【主な内容】

### ＜健幸づくり支援事業＞

BIWA-TEKUアプリと、体組成計や血圧計などの測定機器を活用して、健康データや活動データを集約し、参加される市民が、そのデータをスマートフォンで参照できるよう健康拠点づくりを進め、地域の健幸づくりの支援を行います。

### ＜市内公園におけるウォーキングコース整備費＞

ロクハ公園や草津川跡地公園(区間5)において、園路の舗装や案内板の設置を行い、健康づくりを促すための歩きたくなる仕掛けづくりを進めます。

## ＜事業の目的・効果＞

バイタルデータ・活動データが計測できる機器を健康拠点に配置することにより、「交流機会や健康拠点の充実」を図るとともに、健康づくりにつながる徒歩などによる移動を促進するため、公共空間の整備を行い、「出かけたくなるまちづくり」を進め、市民の運動習慣・健康志向の醸成を図ります。

<p>健康拠点施設</p>	<b>経費の内訳</b>	
	健幸づくり支援事業費	11,308
ロクハ公園	園路舗装整備工事費、案内板設置費	1,960
草津川跡地公園(区間5)	案内板設置費	1,000

## 総合計画リーディング・プロジェクト(「健康都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健康ポイント制度推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉部	健康増進課・保険年金課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,093		3,733			360

### ＜事業の概要＞

健康づくりの意識の高揚を図ることを目的に、市民が健康づくりの取組をされた場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、賞品の応募ができます。

若い世代を含め、さらに多くの人に利用いただき、健康づくりへの関心の向上やきっかけづくりを進めるため、これまでの紙ベースでの運用に加えて、県内10市町や協会けんぽ滋賀支部と共同開発したスマートフォンの健康増進アプリ(BIWA-TEKU)活用により、「ひとの健康づくり」を推進します。

### 【対象】

19歳以上の草津市民

### 【ポイント対象(例)】

個人で健康目標を立て実践した場合(1pt/日)\*7日間連続取組につき追加ptあり

スポーツイベントへの参加、健康講座の受講、特定保健指導(20~30pt/回)

特定健診等(特定健診、プレ特定健診、人間ドック、職場健診)の受診(100pt)

がん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮)の受診(100pt/回、上限200pt)

バーチャルラリー1コース(5~300pt)、スタンプラリー1コース(100pt)

### 【ポイント交換】

ポイント数に応じて、賞品の応募に複数回申し込めるように変更(1口 1,000pt)

### ＜事業の目的・効果＞

健康づくりへの関心を抱くきっかけづくり、生活習慣病の予防や改善のための健康行動や、やる気の維持向上などを図り、健康づくりに取り組む市民が増えることによって、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指します。



### 経費の内訳

賞品にかかる報償費	216
ポスター・ポイントカード等の印刷費	121
健康推進アプリ使用料	3,733
その他事務費	23



# 総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位: 千円)

事業名	(仮称)市民総合交流センター整備費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市再生課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
280					280

## ＜事業の概要＞

(仮称)市民総合交流センターは、定期借地権方式による民間活力を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、従来から計画している既存公共施設の集約や、子育て支援・市民交流のための機能等に加えて、民間事業者からの提案に基づく新たな機能を付加した、公民の複合施設として整備します。

平成30年度は、整備を行う民間事業者による設計・工事を推進するため、民間事業者や入居関係団体等と協議・調整を行い、事業の進捗を図ります。

## 【事業年度計画】

平成30年度～平成31年度: 民間事業者による設計・工事

平成31年度 公共施設部分の取得(区分所有)

## 【敷地概要】

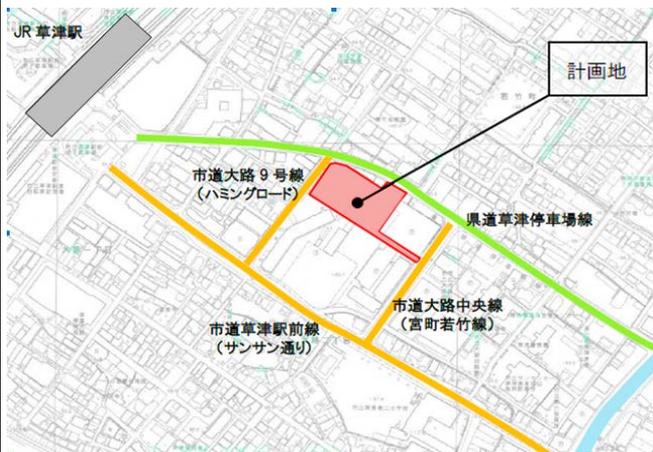
敷地面積 約6,500㎡

所在地 草津市大路二丁目

## ＜事業の目的・効果＞

老朽化が著しい既存公共施設等(草津合同ビル、草津市立まちづくりセンター、草津市立人権センター、草津市社会福祉協議会)を集積し、多くの市民が利用しやすい公民複合施設として整備します。子育て支援のための空間、市民交流のための空間等を整備し、にぎわいと交流の促進を図ります。

経費の内訳	
事務費	280
(債務負担行為)	
平成31年度	
施設購入費	3,050,000
設計・建設モニタリング業務委託費	14,500



# 総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	北中西・栄町地区市街地再開発事業費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市再生課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,224,638	612,319	278,824	300,100	繰 33,000	395

## ＜事業の概要＞

北中西・栄町地区では都市機能の更新と良好な市街地形成を図るため、権利者が市街地再開発組合を設立し、市街地再開発事業に取り組まれています。

平成30年度は、平成29年度に引き続き、施設建築物建設工事、建設工事監理業務を実施されることから、組合への支援を行います。

## 【事業年度計画】

平成29年度～平成31年度：建設工事

平成31年度末：竣工予定

## 【整備内容】

敷地面積 5,709㎡

延床面積 40,164㎡

階層 地下1階、地上26階

施設用途 住宅、商業、サービス付き高齢者向け住宅



## ＜事業の目的・効果＞

細分化された敷地や老朽化した建物等を不燃化された共同建築物に建て替え、オープンスペースなどを確保することにより、中心市街地における災害に強く快適で安全な住みよいまちづくりを進めます。



## 経費の内訳

### 補助内容

施設建築物工事費	1,191,288
電波障害防除工事費	11,454
工事監理費	21,896

# 総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	草津川跡地整備費・公園運営費			区分	草津川跡地整備課	継続
事業費	担当部局・所属			建設部		
	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
189,276			5,200	使 繰 諸 21,620 10,000 520	151,936	

## <事業の概要>

草津川跡地整備事業は、草津川跡地全域を一つの「緑軸」として捉え、魅力あふれる空間づくりを進め、多様な市民活動の場として、“にぎわい”と“うるおい”を創出する空間づくりに取り組み、また、災害時には防災空間となるよう整備を進めています。

平成29年に開園した草津川跡地公園(区間2)および(区間5)において、更なる“にぎわい”と“うるおい”の創出を図るため、引き続き、指定管理者制度による管理、運営を行います。

また、草津川跡地公園(区間2)において、多くの人に来園いただけるよう休憩場所を確保します。

## 【事業区間】

区間2:メロン街道～浜街道

区間4:大津湖南幹線～JR琵琶湖線

区間5:JR琵琶湖線～市道大路16号線

国道1号平面化部、区間6:市道大路16号線～JR東海道新幹線

## 【各区間の主な事業内容】

区間2:ai彩ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

休憩所を設置します。

区間4:JR琵琶湖線上部の道路拡幅にかかるJR施設(トンネル)に影響がないか技術的な検討を行います。

区間5:de愛ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

区間R1:国が整備する人道橋の接続に合わせ、取付道路の暫定整備工事を行います。

## <事業の目的・効果>

草津川跡地全体を質の高い緑空間として整備を進め、草津川跡地公園(区間2)および(区間5)において、指定管理者により、適切に管理・運営を行い、更なる“にぎわい”と“うるおい”のある空間を創出します。

また、草津川跡地公園(区間2)において、休憩所を設置し、来園者の休憩場所を確保します。

	経費の内訳	
	項目	金額
<b>草津川跡地整備費</b>		
・草津川跡地公園(区間2)		
四阿設置工事費		7,008
市道下笠25号線用地取得費		10,000
・草津川跡地(区間4)		
JR構造物解析業務委託費		8,975
・草津川跡地公園(区間5)		
アーケード撤去費		8,720
・草津川跡地(区間R1)		
暫定道路設計費・暫定道路整備工事費		27,248
・その他事務費		15,565
<b>草津川跡地公園運営費</b>		
・草津川跡地公園指定管理料		106,203
・その他事務費		5,557

草津川跡地公園(区間5)(de愛ひろば)

# 総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位: 千円)

事業名	がんばる地域応援交付金			区分	継続
事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,000					14,000

## <事業の概要>

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という考えのもと、地域の魅力や課題を地域の皆さんで見つけ出し、各地域の目指す将来像の実現に向け、各まちづくり協議会で実施される地域のコミュニティ振興や魅力向上のための独自の取組を対象として支援します。

## 【交付額】

1学区あたり4年間(平成28年度から平成31年度まで)で総額3,000千円  
平成30年度の1学区あたりの交付上限額は1,500千円

## 【主な実績】

平成28年度 4学区に交付(3,141千円)  
ふるさと絵図作成事業 他  
平成29年度 12学区に交付(10,386千円)  
「まちづくり計画」改定に向けた住民アンケート 他

## <事業の目的・効果>

「がんばる地域応援交付金」は、各まちづくり協議会を中心に、住民主体でさらなる魅力あるまちづくりを進めていただくために交付するものです。

各地域によって資源や魅力、特色や課題は様々であることから、市では対象事業を限定せず、各地域の実情に応じた取組を各地域から提案いただける、提案型の交付金制度とすることで、まちづくりに対する意欲を高め、連帯意識の醸成を図ります。

	経費の内訳	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の魅力の向上</li> <li>■ 地域課題の解決</li> </ul>	がんばる地域応援交付金



# 総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位: 千円)

事業名	地域ポイント制度推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 まちづくり協働部			まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
503					503

## ＜事業の概要＞

本市では、まちづくり協議会をはじめとする地域コミュニティにおける地域活動の担い手不足が課題となっています。まちづくりの新たな担い手づくりを支援し、「協働のまちづくり」を推進するため、事業活動の参画に応じてポイントを交付する仕組みを導入します。

平成30年度からモデル学区(3学区程度)で先行実施し、効果や課題を検証しながら、将来の全学区での実施を目指します。

## 【主な内容】

対象者 市内在住・在勤でまちづくり協議会の実施する事業に新たに参画する者  
 対象事業 まちづくり協議会が実施する事業(イベント・講座・企画運営会議等)  
 交付ポイント 活動状況に応じて1ポイント=100円として1年の上限を5,000円とする

## ＜事業の目的・効果＞

まちづくり協議会が実施する事業に積極的にスタッフとして参加した人に換金できるポイントを交付することにより、「まちづくりの担い手」を増やし、協働のまちづくりのさらなる推進を図ります。

<p><b>対象者</b></p> <p>新たなまち協事業運営スタッフ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>① 活動 ↓</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>② ポイント ↑</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>③ 申請 ↓</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>④ Q&amp;Aカード ↑</p> </div> </div> <p><b>まちづくり協議会</b></p> <p>ふれあいまつり・企画運営会議 他 まちづくり協議会が実施する事業</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>事業費 ↑</p>  <p>草津市</p> </div>	<p><b>経費の内訳</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>報償費(ポイント代)</td> <td style="text-align: right;">303</td> </tr> <tr> <td>その他事務費</td> <td style="text-align: right;">200</td> </tr> </table>	報償費(ポイント代)	303	その他事務費	200
報償費(ポイント代)	303				
その他事務費	200				

# 総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位:千円)

事業名	志津まちづくりセンター整備費			区分	新規
事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
55,863			35,000	繰 11,000	9,863

## ＜事業の概要＞

昭和53年の竣工から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる志津まちづくりセンターの改築を行います。

志津まちづくりセンターは敷地が狭く、現施設の運営を続けながらの改築ができないため、平成30年度は、改築に向けた事業用地の取得および新施設の設計を行います。

## 【施設概要】

所在地:草津市青地町地先

延床面積:約630㎡程度(事務室、和室、調理室、小会議室、大会議室等)

## 【事業年度計画】

平成30年度 用地取得、基本・実施・解体設計業務

平成31年度 改築、工事監理

平成32年度 解体、工事監理

## ＜事業の目的・効果＞

まちづくり協議会を主体とした地域のまちづくり活動の拠点施設である地域まちづくりセンターの建替えを行うことにより、地域活動の促進を図ります。

 <p>現 志津まちづくりセンター</p>	経費の内訳	
	設計業務委託費	27,446
	用地取得関連経費	28,417

# 主要な新規・拡大施策の概要

「人」が輝くまちへ	.....	37
「安心」が得られるまちへ	.....	40
「心地よさ」が感じられるまちへ	.....	46
「活気」があふれるまちへ	.....	56
行財政マネジメント	.....	59



# 「人」が輝くまちへ

(単位: 千円)

事業名	コミュニティ・スクールくさつ推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,300					1,300

## <事業の概要>

学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるため、平成28年度から、市立の小学校にコミュニティ・スクールの仕組みを導入しています。平成30年度には、中学校へ拡大し、市立の全小中学校にコミュニティ・スクールを導入します。

コミュニティ・スクールでは、各校ごとに学校運営協議会を設け、保護者、地域住民、学校運営に資する活動を行う者等がその委員となり、学校運営やそのために必要な支援に関して協議を行います。

小学校 14校→14校  
中学校 0校→6校

## 【年間計画の例】

- 6月 第1回学校運営協議会
- 8月 第2回学校運営協議会
- 12月 第3回学校運営協議会
- 2月 第4回学校運営協議会

※具体的なスケジュールは、学校によって異なります。

## <事業の目的・効果>

「地域とともにある学校」の実現を目指して、学校、保護者、地域住民の組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、学校運営の充実を図ります。

<p>コミュニティ・スクールの仕組み</p> <p>学校運営の基本的な方針の承認 (P)</p> <p>社会に開かれた教育課程の実現</p> <p>改善策の検討 (A)</p> <p>学校評価の実施 (C)</p> <p>学校支援体制の整備 (D)</p> <p>学校課題・危機対応へのサポート</p> <p>家庭教育・地域における教育活動への助言・支援</p>	<b>経費の内訳</b>	
	学校運営協議会の委員報酬	1,280
その他事務費	20	

# 「人」が輝くまちへ

(単位: 千円)

事業名	文化振興プログラム推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			生涯学習課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,660					5,660

## ＜事業の概要＞

これまで培われてきた文化を市民共有の財産として大切に引き継ぎ、出会いと交流に満ちた草津市の文化を創造し発展させるため、本市では平成29年7月に「草津市文化振興条例」を施行しており、この条例に基づく「草津市文化振興計画」を平成29年度中に策定する予定です。

平成30年度は、この計画をもとに、市民誰もが身近に親しめる文化事業や文化の力によって都市の魅力を高めるための文化施策を、計画的かつ総合的に推進します。

また、学識経験者や文化団体、教育関係者、公募委員等で構成する草津市文化振興審議会において、計画に位置付けた重点プロジェクトの研究を進めます。

## 【主な内容】

### ・草津市文化振興フォーラムの開催(新規)

条例の施行および計画の策定を周知し、文化振興の機運を高めます。

### ・アートフェスタくさつの開催(拡大)

ワークショップの充実を図るとともに、野外映画祭を同日夜に開催することにより、一日を通して若年層がアートに親しむことができるイベントを開催します。

### ・文化振興プログラム等の情報発信(新規)

秋に開催する文化事業、本市の文化的資産の魅力等をパンフレットとしてまとめ、配布します。

## ＜事業の目的・効果＞

「草津市文化振興計画」に基づく文化振興プログラムを実施することにより、本市における文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。



アートフェスタくさつ(星降る映画館)



アートフェスタくさつ(わくわく体験広場)

## 経費の内訳

草津市文化振興フォーラム開催費	717
アートフェスタくさつ開催費	2,745
草津シネマ塾開催費	1,344
文化振興パンフレット作成費	301
草津市文化振興審議会開催費	501
その他事務費	52

# 「人」が輝くまちへ

(単位: 千円)

事業名	歴史文化基本構想策定費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			文化財保護課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,736	4,686				5,050

## ＜事業の概要＞

指定・未指定を含む本市の全ての文化財の保存・活用に向けた取組を進めるため、国が提唱する文化財保護に関するマスタープランである「歴史文化基本構想」を策定します。

また、本市の歴史文化の中核である国史跡草津宿本陣や国史跡芦浦観音寺跡について、適切に保存・活用が図れるよう、「史跡保存活用計画」を策定します。

## 【主な内容】

- ・歴史文化基本構想の策定
- ・史跡草津宿本陣保存活用計画の策定
- ・史跡芦浦観音寺跡保存活用計画の策定

## ＜事業の目的・効果＞

少子高齢化等、社会変化に対応した国史跡を含めた文化財の適切な保存・活用に向け、基本構想や保存活用計画を策定します。このことにより、文化財の保存・活用に向けた様々な取組を進めることができるようになります。



本市を代表する文化財の一つ  
「草津のサンヤレ踊り」

## 経費の内訳

歴史文化基本構想策定支援業務委託費	4,478
史跡保存活用計画策定支援業務委託費	4,482
その他事務費	776

# 「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	湖南福祉圏域重症心身障害者生活介護施設整備費			区分	障害福祉課	継続	継続
事業費	担当部局・所属			健康福祉部			
	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
61,244			19,000	繰 上 諸 19,000 22,803			441

## ＜事業の概要＞

重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態にある重症心身障害者の日中活動の場を確保するため、湖南福祉圏域の4市(草津市・守山市・栗東市・野洲市)で重症心身障害者通所施設(生活介護事業所)の整備を進めます。

平成29年度に事業者が決定したところであり、平成30年度は基本設計・実施設計について補助金を交付するとともに、上下水道の整備を行います。

## 【スケジュール】

- 平成30年度 基本設計・実施設計に対する補助金交付、上下水道整備工事
- 平成31年度 建築工事に対する補助金交付
- 平成32年4月 開所予定

## ＜事業の目的・効果＞

湖南福祉圏域で不足する重症心身障害者通所施設の整備を促進し、重症心身障害者が地域で安心して生活ができるよう取組を進めます。



湖南福祉圏域の重症心身障害者通所施設  
(「たいよう」守山市石田町)

## 経費の内訳

設計費補助金(基本設計・実施設計)	35,805
上下水道整備費(実施設計・工事)	25,439

# 「安心」が得られるまちへ

(単位:千円)

事業名	特定相談支援体制強化費補助金			区分	新規
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			障害福祉課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,328					3,328

## ＜事業の概要＞

平成27年度より障害福祉サービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となりましたが、サービス等利用計画を作成する特定相談支援事業所における相談員の不足が課題となっていることから、相談支援体制の強化を図るため、事業所を支援する補助制度を創設します。

## 【主な内容】

市内外の特定相談支援事業所がサービス等利用計画を新規作成した場合等に、国の報酬額に加えて、上乗せ補助を行います。(補助対象作成件数の下限有)

補助額 = 基本額(国の報酬程度) + 実績加算額(一定件数ごとに追加補助)

## 【スケジュール】

平成30年4月 補助制度開始

## ＜事業の目的・効果＞

国では地域相談支援体制の強化を推進しており、本市においても補助制度の創設により、既存の特定相談支援事業所の強化や新たな事業所の設置促進を併せて行うことで、相談支援体制を強化します。

	<b>経費の内訳</b>	
	特定相談支援体制強化費補助金	3,328

# 「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	地域支え合い運送支援事業費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康福祉政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,422					2,422

## ＜事業の概要＞

少子高齢化や核家族化など社会情勢の変化を背景に、地域でのつながりが希薄化しており、これまで以上に地域で支え合う体制づくりが必要となっています。

こうした中、通院や買い物、地域活動への参加が困難な高齢者や障害者等の外出時の移動を支える仕組みとして、平成26年度から志津南学区と山田学区で「地域支え合い運送支援事業」がスタートしました。さらに、平成29年度には老上・老上西学区で事業が開始されました。

平成30年度は、現在実施している学区に加え、新たな学区で実施できるよう草津市社会福祉協議会と連携して取組を進めます。

## 【事業の内容】

草津市社会福祉協議会を実施主体として、送迎車両の購入費等を補助します。

- 事業主体 学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会
- 運転手 地域のボランティア
- 利用対象者 地域の高齢者や障害者等
- 利用者負担 送迎に要した燃料費等の実費

## 【事業費】

- 送迎車両購入費 1,692千円
- その他費用(保険料等) 730千円

## ＜事業の目的・効果＞

社会とのつながりが希薄化している人や日常生活の支援が必要な人を対象に、学区社会福祉協議会が主体となって地域のボランティアの方々と、支え合い助け合う取組を支援します。また、移動困難な人を支援することにより、閉じこもり予防や介護予防につなげるとともに、地域でのふれあいの場への参加を促し、地域福祉の向上を図ります。



## 経費の内訳

車両購入費等補助金 (車両代・保険料等)	2,422
-------------------------	-------

# 「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	がん検診推進事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
156,241	4,044	11,320		諸 11,532	129,345

## ＜事業の概要＞

協会けんぽ滋賀支部と国民健康保険が合同で特定健診を行う会場において、プレ特定健診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肺がん結核検診を同時実施することにより、受診機会を拡大します。また、50歳以上の人を対象に、従来の胃X線検診に加えて新たに胃内視鏡検診を選択できるようにすることで受診機会を拡大します。

## 【事業スケジュール】

6月: 実施医療機関説明、胃がん検診(内視鏡検診)開始  
8月: 合同検診開始

## ＜事業の目的・効果＞

がん検診の受診機会の増加や検診手法を拡充することにより、受診率を向上させ、がんを早期に発見し、がん死亡の減少を目的とします。



## 経費の内訳

検診委託費	131,605
受診勧奨等にかかる郵便代	13,058
検診票等印刷費	3,569
臨時職員雇用費	6,393
その他事務費	1,616

# 「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	国民健康保険特定健康診査・ 特定保健指導受診率向上対策費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			保険年金課・健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,771		17,299			8,472

## ＜事業の概要＞

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳から74歳の国民健康保険の被保険者に対し、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、生活習慣病の予防や早期発見、改善を図っています。

## 〔特定健康診査〕

### ・協会けんぽ連携事業

協会けんぽ滋賀支部との事業連携協定に基づき、特定健康診査を共同実施します。  
平成30年度より実施回数を年4回から年8回に拡大し、受診率の向上を目指します。

### ・未受診者対策事業

未受診の人に対し、電話での受診勧奨を実施するとともに、過去の特定健診のデータを分析し、対象者の特性に合わせて未受診勧奨はがきを通知し、受診率の向上を目指します。

## 〔特定保健指導〕

集団で行う特定健診会場にて初回の保健指導を行い、確実に特定保健指導につなげるとともに、委託先を拡充することで、保健指導を受ける機会を増やし、実施率の向上につなげます。

## ＜事業の目的・効果＞

・協会けんぽとの連携事業を促進することにより、被保険者の受診機会を増やし、受診しやすい環境を整えます。

・受診勧奨を実施し、特定健診の周知、啓発を行うことで、受診率の向上を目指します。

・メタボリックシンドロームの予防および改善の必要性が認められた人に対し、特定保健指導を行うことで、生活習慣病の発症予防・重症化予防を目指します。

	経費の内訳	
	特定健康診査集団健診委託費	3,347
	未受診者対策事業費	10,650
	特定保健指導費	11,774

# 「安心」が得られるまちへ

(単位:千円)

事業名	火葬場整備基礎調査費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 まちづくり協働部			生活安心課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,541					8,541

### ＜事業の概要＞

草津市営火葬場は、昭和55年の竣工から38年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、今後、火葬件数の増加が予測される中、火葬炉等の不足が見込まれるため、新たな施設の整備が必要となってきます。

このことから、同施設に関する今後の整備方針等の検討を行うため、必要となる事項について基礎調査を行います。

### 【基礎調査項目】

- ・火葬需要予測調査の時点修正と必要炉数の算定
- ・火葬機能や待合室等の施設機能の検討
- ・事業計画、事業手法の検討など

### 【現在の施設概要等】

- ・敷地面積:1,177㎡、建物面積:鉄骨造1階建て 267㎡
- ・諸設備:火葬炉3炉、収骨室・ホール、待合室各1室
- ・火葬可能件数:7件/日      ・火葬件数(平成28年度):1,197件

### ＜事業の目的・効果＞

将来の火葬需要に対応した施設整備の検討に必要な調査を行い、市民生活に不可欠な施設の計画的な整備の推進を図ります。



草津市営火葬場

### 経費の内訳

火葬場整備基礎調査業務委託費	8,541
----------------	-------

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	宿場街道景観形成事業交付金・東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業交付金			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市計画課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,000	3,600				4,400

## <事業の概要>

草津宿の歴史と特徴を色濃く残した東海道および中山道沿道の歴史的な町並みに調和した景観を創造するため、建築物および工作物の新築または改修等に要する経費について支援します。

### 【主な内容】

(従来)

#### ①宿場街道景観形成事業交付金

・補助対象範囲

公道に面した建築物等の前面部分(側面が一体の場合は奥行き2mまで)

(拡大)

#### ②東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業交付金

・補助対象範囲

草津市景観計画の「東海道草津宿本陣通り景観形成重点地区」の区域内で、市道宮町渋川線から見える範囲(宿場街道景観形成事業交付金の対象となる前面2mを除く)

## <事業の目的・効果>

歴史的に優れた景観の保全、創造、または優れた景観への改修について支援していくことで、市民が愛着と誇りを持てる魅力あるまちづくりを進めます。



「東海道草津宿本陣通り景観形成重点地区」の区域  
市道宮町渋川線のうち、県道山田草津線との交差点から市道草津2号線との交差点まで、道路中心線から15mの範囲

### 経費の内訳

宿場街道景観形成事業交付金	4,000
東海道草津宿本陣通り 景観重点地区形成事業交付金	4,000

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

事業名	烏丸半島群生ハス再生実証実験費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 環境経済部			環境課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,301		766			1,535

## ＜事業の概要＞

平成29年度に実施した「赤野井湾におけるハス群落再生の可能性に関する基礎調査」の結果を踏まえ、残存するハスの地下茎を採取して、ハスが消滅した場所(4か所)に、底質の改善を図った上で、試験的に移植を行います。(平成30年2月下旬から3月上旬予定)

平成30年度は移植したハスの活着状況や、生態系の回復状況の確認など、引き続きハス再生に向けた実証実験を進めます。

## 【主な内容】

移植後の活着の確認などを行います。

- ・生育環境調査 : 底泥ガスや酸化還元電位など、生育環境を把握するための調査
- ・モニタリング調査 : 移植後のハスの状況を調査
- ・残存ハス群落生育状況調査: 残存ハス群落の状況、分布範囲を調査

## 【スケジュール】

- ・平成30年5月: 生育環境調査
- ・平成30年8月: モニタリング調査、残存ハス群落生育状況調査

## ＜事業の目的・効果＞

移植したハスをモニタリングし、活着の可否を検証することで、ハス群落消滅後、赤野井湾の生育環境がどのように変化しているのかを調査し、ハスの生育が可能であるのかを明らかにします。



＜平成29年度の調査の様子＞

## 経費の内訳

実証実験業務委託費	2,301
-----------	-------

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

事業名	くさつエコスタイルプラザ運営費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	環境経済部			環境課・ごみ減量推進課・ 廃棄物処理施設建設室
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,889					7,889

## ＜事業の概要＞

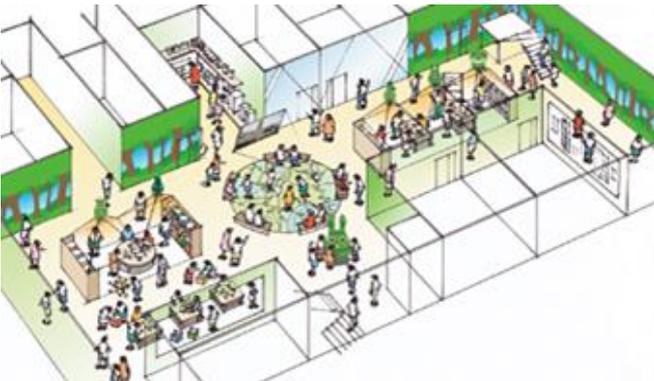
新クリーンセンターでは、一般廃棄物を適正に処理することにあわせて、新たに本市の環境啓発の拠点となる「くさつエコスタイルプラザ」を開設し、「第2次草津市環境基本計画」に掲げる「資源循環型社会の構築」、「低炭素社会への転換」、「環境学習社会づくりの推進」の3つのテーマの推進を図るため、市民、団体、企業等と連携を図りながら、各種啓発事業等を実施します。

## 【主な内容】

- ・講座(ワークショップ)開催  
施設見学者や各種イベントの来場者も参加できる講座を実施し、資源化の実践や環境学習につながる工作や体験活動等を実施します。
- ・イベント事業  
ごみ問題について楽しみながら考えるためのイベントとして、リサイクルマーケットやかえっこバザールなどを実施します。また、平成30年度は新クリーンセンターでリサイクルフェアを実施します。
- ・展示事業  
環境保全の啓発等のための常設展示を行うほか、リサイクル家具の展示や抽選を行います。
- ・環境活動支援事業  
市民の環境活動を支援するため、環境学習教材の貸出を行います。

## ＜事業の目的・効果＞

- ・市民の3R実践行動を促進し、廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理に努めます。
- ・地球温暖化について市民の理解の促進を図り、まちと暮らしに関する環境配慮、省エネルギーの利用促進等を図ります。
- ・家庭、学校、職場など様々な場面で、生涯を通じて誰もが環境について豊かに学べる環境学習社会づくりを推進します。

 <p>新クリーンセンター内 くさつエコスタイルプラザ イメージ図</p>	経費の内訳	
	講座(ワークショップ)開催費	753
	イベント開催費	1,015
	展示啓発費	5,578
	その他事務経費	543

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	南草津プリムタウン土地区画整理事業費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市再生課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
226,279			152,200	繰 74,000	79

## ＜事業の概要＞

南草津プリムタウン地区では、JR南草津駅周辺地区として、健全かつ計画的な市街地の形成と地域の発展を図るまちづくりを進めるため、地権者が土地区画整理組合を設立し、土地区画整理事業に取り組まれています。

平成30年度は、埋蔵文化財調査、区画街路工事、草津用水路移設工事を実施されることから、引き続き組合への支援を行います。

## 【整備内容】

施行面積：約32ha

## 【事業年度計画】

平成29年度：工事着手

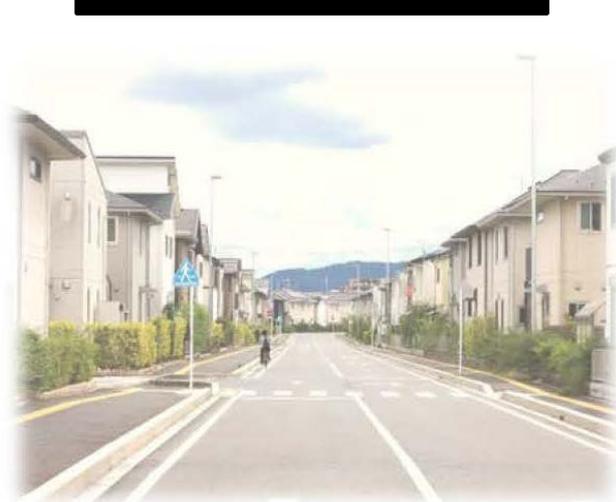
平成33年度：工事竣工予定



## ＜事業の目的・効果＞

都市基盤整備のより一層の推進を図り、都市としての魅力を高め、活力あるまちづくりを進めます。

## 整備イメージ図



## 経費の内訳

### 補助内容

区画街路 用地・築造費	169,200
草津用水路移設工事費	28,449
埋蔵文化財調査費	28,630

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	地域再生推進事業費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市計画課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,154					6,154

## ＜事業の概要＞

市街化調整区域において持続可能なまちづくりを推進するため、草津市版地域再生計画の策定に取り組んでいます。

草津市版地域再生計画では、各地域での日常生活に必要なサービス機能の維持・確保、公共交通ネットワークの充実、そして、地域資源を活かした産業の支援を行います。

平成30年度は、計画策定の取組と合わせて、地域の実情に応じた地域再生の推進を図るため、各地域における検討会や、地域間での意見交換や情報共有を図るための地域再生推進協議会を開催し、生活・交通拠点や地域振興施策の具体化に向けた取組を行います。

## 【主な内容】

- ・地域再生推進補助業務
- ・各地域での検討会の開催
- ・地域再生推進協議会の開催

## ＜事業の目的・効果＞

立地適正化計画や地域公共交通網形成計画の策定に合わせて、地域の実情に応じた地域再生の推進に取り組み、人口減少・超高齢社会に対応可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めます。

## 《 施策展開イメージ図 》



地域資源を活かした

地域振興施策



## 経費の内訳

地域再生推進補助業務委託費	5,724
地域再生推進協議会運営費	280
地域再生アドバイザー謝金	150

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

事業名	上水道事業基本計画策定費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 上下水道部			上下水道施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
0					

## ＜事業の概要＞

昭和39年に給水開始した本市水道事業については、平成13年度策定の第4次拡張事業における基本計画では、給水人口の増加に比例して給水量が増加するよう見込んでいましたが、平成27年度に実施した水道ビジョンの中間見直しにおいては、給水人口は平成42年度をピークとして減少に転じ、また、給水量については節水型水使用機器の普及、節水意識の向上により徐々に減少していくと予測しており、これまでの水需要の想定とは大幅に異なる見込みとなっています。

このことから、今後の水需要に応じた計画的な施設整備や管路の更新を進めて行くため、概ね20年間の基本的な施設計画となる上水道事業基本計画を策定します。

## 【スケジュール】

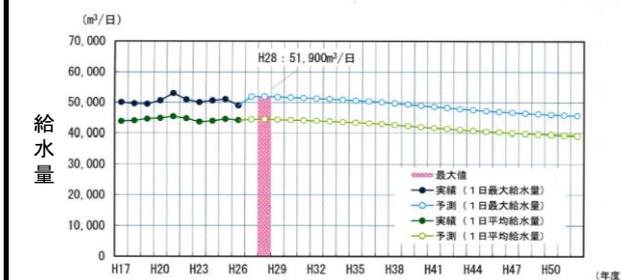
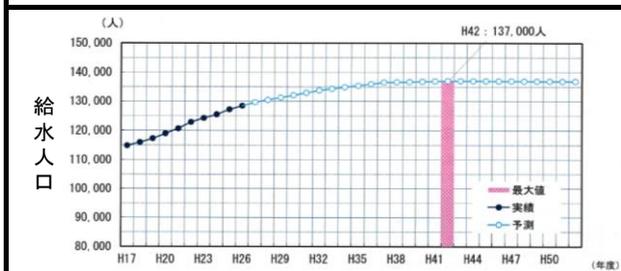
平成30年度～平成31年度 計画策定

## 【計画期間】

平成32年度～平成51年度

## ＜事業の目的・効果＞

基本計画を策定し、今後の水需要に対応した施設計画、更新計画とすることにより、適切な事業運営を図ります。



水道ビジョン(中間見直し)での将来予測

## 経費の内訳

(債務負担行為)

平成31年度

上水道事業基本計画策定支援業務委託費 35,400

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	ロクハ浄水場／北山田浄水場耐震補強費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 上下水道部			ロクハ浄水場・北山田浄水場	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
455,345			235,100	繰 111,400	108,845

## ＜事業の概要＞

大規模な震災被害からライフラインを守り、浄水施設の耐震性向上を図るため、施設の耐震補強を進めています。ロクハ浄水場は平成29年度から3か年の計画で新館の急速ろ過池、薬品沈殿池の耐震補強工事を進めています。北山田浄水場はロクハ浄水場に引き続いて耐震補強工事を行うために、平成30年度から平成31年度にかけて、工事の実施設計を行います。

## 【施設概要】

(ロクハ浄水場) 施設能力: 35,600m<sup>3</sup>/日 旧館および排水処理施設は耐震化完了  
 (北山田浄水場) 施設能力: 19,950m<sup>3</sup>/日 耐震診断の結果、一部施設に補強が必要

## 【事業年度計画】

平成29年度～平成31年度: ロクハ浄水場新館耐震補強工事、工事監理業務  
 (急速ろ過池6池および薬品沈殿池2系列の耐震補強等)  
 平成30年度～平成31年度: 北山田浄水場耐震補強工事実施設計業務  
 平成32年度以降 : 北山田浄水場耐震補強工事

## ＜事業の目的・効果＞

水道事業の主要施設である浄水場の耐震補強工事を行うことで、災害に強いライフラインを確保し、市民への水道水の安定供給を図ります。



ロクハ浄水場急速ろ過池と薬品沈殿池



北山田浄水場

## 経費の内訳

ロクハ浄水場	
新館耐震補強工事費	445,625
新館耐震補強工事監理費	9,720
(債務負担行為)	
平成31年度	
北山田浄水場	
耐震補強工事実施設計費	90,400

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	農業集落排水施設公共下水道接続費			区分	継続
事業費	担当部局・所属		上下水道部	上下水道施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
405,800	177,300	9,650	199,000		19,850

## ＜事業の概要＞

市内6地区(下物、片岡、志那中、志那、北大萱・穴村、北山田)の農業集落排水施設は、平成元年度から平成9年度にかけて供用を開始し、近年では、施設の老朽化が著しく、各処理場の維持管理に相当苦慮しているのが現状です。

このことから、平成27年度より、当該6地区の公共下水道への接続事業を進めています。

## 【工事概要】 管渠整備全体延長 L=7.7km

6地区(下物、片岡、志那中、志那、北大萱・穴村、北山田)の公共下水道接続工事

## 【事業計画】

平成27年度 実施設計業務、土質調査業務

平成28年度 管渠整備工事 L=2.3km

平成29年度 管渠整備工事 L=1.7km

平成30年度 管渠整備工事 L=1.7km

平成31年度 管渠整備工事 L=2.0km

平成32年度 供用開始予定

## ＜事業の目的・効果＞

公共下水道への接続を行うことにより、農業集落排水施設の維持管理の軽減を図ります。

	経費の内訳	
	公共下水道接続工事費	379,000
工事監理費	4,700	
事業計画変更支援業務等委託費	19,800	
移設補償費	2,300	

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

事業名	大江霊仙寺線(南笠工区)整備費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 建設部			道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
350,824	183,590		135,100	繰 31,000	1,134

## ＜事業の概要＞

都市計画道路大江霊仙寺線のうち、旧十禅寺川から約900mの整備を進め、南北の幹線道路としてJR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。

南草津プリムタウン土地区画整理事業区域内の388m(その1区間)は、組合施行により事業を進め、土地区画整理事業区域先線の約500m(その2区間)は、市施行により進めます。

## 【整備内容】

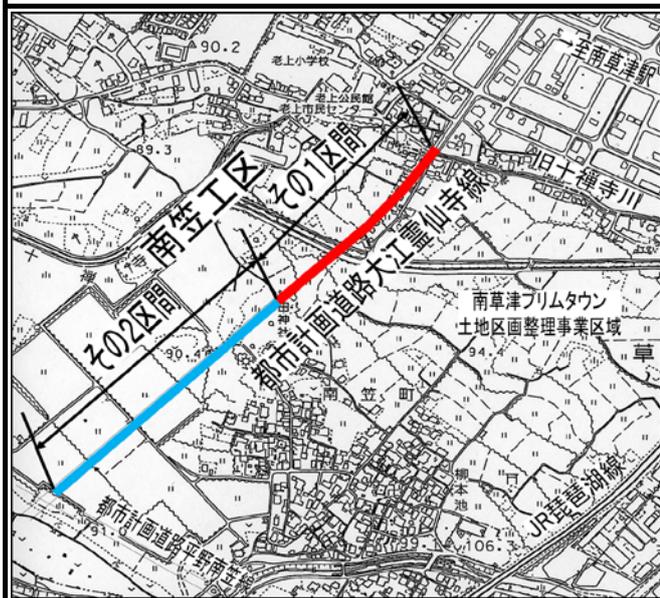
都市計画道路整備 延長L=約900m 幅員W=16m

## 【平成30年度実施内容】

- その1区間 工事協定(橋梁下部工事費)  
公共施設管理者負担金(用地費・建物補償費)
- その2区間 基本設計他業務

## ＜事業の目的・効果＞

南北の幹線道路を整備することにより、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。



## 経費の内訳

＜その1区間＞	
工事協定(橋梁下部工事費)	75,000
公共施設管理者負担金(用地費・建物補償費)	258,800
その他事務費	1,024
＜その2区間＞	
基本設計他業務委託費	16,000

# 「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位: 千円)

事業名	コミュニティバス運行費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 都市計画部			交通政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
60,974					60,974

## ＜事業の概要＞

本市では、市内のバス交通空白地・不便地を中心とした生活交通の確保や、地域の活性化を図るため、コミュニティバス「まめバス」、「草津・栗東くるっとバス」ならびに「草津・栗東・守山くるっとバス」を運行しています。

平成30年度は、「草津・栗東くるっとバス」の大宝循環線について、守山市への路線延伸を行い、広域的なバス路線網の充実を図ります。

また、JR草津駅から大学病院までを運行している草津駅医大線について、利用者の利便性を高めるため、便の拡大を行い、運行ダイヤの充実を図ります。

## 【主な内容】

### ＜コミュニティバス運行路線＞

- ・商店街循環線、草津駅医大線、山田線、笠縫東常盤線(まめバス)
- ・大宝循環線(草津・栗東くるっとバス)→平成30年秋頃に守山市へ延伸予定
- ・宅屋線(草津・栗東・守山くるっとバス)

## ＜事業の目的・効果＞

公共交通ネットワークの確立、バス交通空白地および不便地の解消、交通弱者等の生活交通手段の確保、地域間交流の拡大等を目的に、地域を維持・活性化する交通まちづくりの実現を目指して、地域・バス事業者・行政の協働のもと、地域のマイバス意識の高いコミュニティバスの運行を支援します。

また、隣接市と連携したバス路線網の強化を図ることで、病院施設や商業施設等へのアクセスが拡大し、公共交通の利便性が向上します。



## 経費の内訳

コミュニティバス運行補助金	60,974
---------------	--------

# 「活気」があふれるまちへ

(単位: 千円)

事業名	野菜残さ等の液肥化・利活用実証実験支援事業費			区分	農林水産課
事業費	担当部局・所属		環境経済部		
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,900					13,900

## ＜事業の概要＞

市域の野菜生産現場から発生する野菜残さや琵琶湖の水草などの未利用資源を活用し、高品質の有機性液肥を生成する技術を構築するとともに、生成した有機性液肥を地域の農業者等が有効利用できる仕組みについての実証実験を支援します。

【実施主体】 滋賀県立大学(包括協定を締結)

【実施場所】 草津市北山田漁港内の一部および北山田ほ場

## 【実験内容】

- ・高品質な液肥の生成手法の検討
- ・液肥の安全性・成分分析
- ・ほ場散布による農産物の生育調査 など

## 【スケジュール】

- 平成29年5月～ 実験プラントの整備
- 7月～ 液肥の生成実験
- 平成30年3月～ ほ場での生育試験
- 平成31年3月 実験プラントの撤去

## ＜事業の目的・効果＞

野菜生産現場から発生する野菜残さ等を活用して液肥を生成し、地域内農地で利活用する資源循環型農業の実現を目指します。

経費の内訳	
<p>水草の繁茂 (琵琶湖) 水草の処理(堆肥化)に苦慮</p> <p>バイオマスの研究 (滋賀県立大学) 水草のバイオガス化と藻類培養の研究開発</p> <p>実証実験(北山田地先) 野菜残さ・水草からの液肥生成実験 生成液肥での野菜栽培実験</p> <p>野菜生産現場 出荷調整等に伴う残さ処理に苦慮</p>	<p>実証実験事業費補助金 13,900</p>

# 「活気」があふれるまちへ

(単位: 千円)

事業名	ビワイチ観光推進事業費			区分	継続
事業費	担当部局・所属		環境経済部	商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,000	5,000				5,000

## ＜事業の概要＞

滋賀県では、自転車による琵琶湖一周「ビワイチ」をはじめ、県内各地を気軽に自転車で巡れるよう、安全に自転車を利用できる環境整備や観光資源の魅力向上、情報発信などを図ることによって、交流人口や宿泊客数の増加、地域経済の活性化を目指した取組を進めています。

本市においても、サイクリストの受入環境整備や情報発信を進めることで、湖岸から「まちなか」へのサイクリストの誘客による地域の活性化や、自転車を利用することで健康づくりにもつながるような事業を展開します。

## 【主な内容】

- ・集客施設等でのサイクリスト受入環境の整備(サイクルラックの設置等)
- ・サイクリストを誘客するイベントの実施
- ・サイクリスト向けPR動画の作成
- ・WEBを活用したサイクリスト向け情報発信

## ＜事業の目的・効果＞

滋賀県を中心として、大津市、草津市、守山市、高島市、東近江市、米原市が連携し、国の地方創生推進交付金を活用しながら、琵琶湖を自転車で一周する「ビワイチ」を中心に、自転車で安心してまちなかへの回遊ができる環境整備に努めるとともに、観光誘客事業の一助とします。



＜ビワイチの様子＞

## 経費の内訳

サイクリスト受入環境整備費	500
イベント開催費	3,500
PR動画作成費	5,000
WEB情報発信費	1,000

# 「活気」があふれるまちへ

(単位: 千円)

事業名	アーバンデザインセンター運営費			区分	草津未来研究所
事業費	担当部局・所属 総合政策部			草津未来研究所	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,052	1,163				14,889

## ＜事業の概要＞

産学公民の連携の拠点である「アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)」は、平成29年8月に西友南草津店1階に移転し、誰もが草津の未来について自由に語り合える拠点となることを目指して運営しています。平成30年度は、引き続きセミナー等を通してより多くの人に利用いただき、また、様々な立場の人々が世代を超えて都市デザインについて考える場を創造するとともに、法人化の是非について検討を行います。

## 【主な取組】

- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会の開催
- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキングの開催
- ・アーバンデザインスクールの開催
- ・未来創造セミナーの開催
- ・UDCBK社会実験事前調査業務

## ＜事業の目的・効果＞

UDCBKは、草津の未来のまちのデザインを考えるために、大学(教職員や学生)や企業(経営者や通勤者)、行政(国や県や市の職員)の人々が、草津市民と気軽に自由に話し合い、交流する場所です。その話し合いの中で見つけた未来の草津の課題について学習した成果をそれぞれの活動に活かしていただいたり、大学や企業の専門家と連携し、調査研究や社会実験を実施し、そこで発見されたことを未来のまちづくりに積極的に応用・還元することを目的としています。



未来創造セミナーの様子

## 経費の内訳

テナント賃借料	9,495
スクール等開催費	1,412
懇話会等開催費	302
UDCBK社会実験事前調査業務委託費	1,000
その他運営費	3,843

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	働き方改革推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 総合政策部			職員課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,197					1,197

## <事業の概要>

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進や長時間勤務の縮減に向け、業務や働き方を見直し、職員一人ひとりが「いきいきとした働き方」を実現し、やりがいや充実感を感じることができる魅力ある職場づくりを目指した働き方改革を進めています。

平成30年度は、在宅勤務(テレワーク)の導入をはじめ多様な働き方を推進するとともに、職員の意識改革に必要なマインドとスキルをさらに向上させるため、外部の専門家に委託し、改革のための研修を実施します。

## 【主な内容】

- ・職員向け研修  
管理職向け組織マネジメント研修、タイムマネジメント研修等 年6回実施
- ・在宅勤務(テレワーク)  
平成30年5月より実施予定

## <事業の目的・効果>

本市の職員を対象に、業務の見直しや事務の効率化、意識改革を図り、長時間勤務を縮減するとともに、在宅勤務(テレワーク)の導入により、働きやすい職場となるよう働き方改革をさらに推進します。



職員向け研修の様子

## 経費の内訳

働き方改革職員研修業務委託費	1,167
在宅勤務(テレワーク)導入費	30

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	議会ICT化推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 議会事務局			議事庶務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,476					2,476

## ＜事業の概要＞

「政策の立案や提言を行う議会」、「適正な行政監視および評価を行う議会」など、議会基本条例に定める議会の役割を果たすため、議会活動の能率化を図る手段の一つとして、タブレット端末やクラウド等の導入を行います。

## 【事業のスケジュール】

平成30年7月 タブレット端末等の導入

## 【主な内容】

- ①タブレット端末を導入し、全議員に貸与
- ②クラウド等の導入(文書管理、データ検索等)

## ＜事業の目的・効果＞

会議資料や各種計画書、統計資料などをデータベース化し、委員会審査への活用や調査研究活動への利用により、議会活動の能率化を図ります。

また、ICT化することで、事務連絡やスケジュール管理の即時性や伝達性能を向上させることに加え、資料のデータ化による事務効率の向上やペーパーレスによるコスト削減を図ります。

<p>資料をデータ化</p> <p>委員会審査や調査研究に利活用</p>	<b>経費の内訳</b>	
	タブレット端末導入費	1,487
	クラウド等導入費	989

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	事務事業の整理合理化			区分	継続
事業費	担当部局・所属 総合政策部			行政経営課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
△ 264,593	△ 3,593	△ 2,034	使 繰 諸 保 介	△ 10,208 14 △ 121 13,412 △ 477	△ 261,586

## <事業の概要>

第3次草津市行政システム改革推進計画(平成29年度～平成32年度)に掲げるアクション・プランの1つである「事務事業の効率化」に基づき、社会状況の変化による課題等を踏まえながら、各部局の主体的なマネジメントによる事務事業の点検を引き続き実施することや、業務見直し工程表(スクラップロードマップ)※に基づき、相対的に必要性が低いと判断された事業等について、優先的に廃止、縮小、手法の見直しを検討し、事業の再構築や実施手法の最適化を進め、厳しい財政状況に鑑み、限られた人員と財源の戦略的な資源配分を図ります。

## 【※業務見直し工程表(スクラップロードマップ)】

事業等の抜本的な見直しの徹底(廃止だけでなく、既存事業の統合や見直し等による事務事業の効率化を含む)と、将来を見越した「選択と集中」を推進するための手法(ツール)として、事業の課題整理や手法の検討、関係者等への説明を計画的に進めていくために工程表を策定したものの。

## <事業の目的・効果>

市民ニーズの多様化・複雑化や高齢化等による社会保障関係経費の増加、公共施設やインフラの老朽化対策、また、将来必ず訪れる人口減少への対応等、課題が山積している中で、人員や財源には限りがあることから、市民、地域、団体、企業、行政等の多様な主体が役割を分担し、最適な公共サービスを提供する持続可能な共生社会の構築を目指します。



## 経費の内訳

子どもの思考力育成事業 等 事業、業務の廃止 14件	△ 10,427
すっきりさわやかサービス事業 等 事業、業務の見直し 68件	△ 254,166
上記の廃止、見直しのうち 業務見直し工程表(スクラップロードマップ)に 関するもの 13件(内数)	△ 24,606



草津市公認マスコットキャラクター

たび丸<sup>まる</sup>